

(5) 動植物

1) 本市の植物の概況

本市の植生としては、図2-17に示すように、ブナ林伐採後に成立した二次林が最も広い分布となっており、次いで、スギの造林地、水田・畑地となっています。山麓部ではスギ造林地・二次林・畑地となっており、段丘面から信濃川に至る平坦地では水田・畑地・住宅地となっています。

平坦地の信濃川周辺では、ニセアカシア(帰化植物)・ヤナギ類などが群落を形成し、山地では二次林・スギの造林地・水田が多く、当間山周辺などでは、まとまったブナ林がみられます。なお、スギの造林地は、木材価格の低迷などの影響を受け手入れが行き届かず、荒れているものが見受けられます。

本市の貴重な自然植生であるブナ林は、かつては今よりも大きく広がっていましたが、これまでの地域の開発やスギの植林などにより減少してしまいました。また、セイタカアワダチソウ・アレチウリ・ニセアカシアなどの帰化植物が分布を広げ、競争に負けた在来植物が減少しています。

十日町市環境基本計画では、レッドデータブックに掲載されている絶滅のおそれのある種について、人為的な要因によって生育環境が悪化している事例が示されています。その一例として、南雲原や珠川、信濃川の川原で確認されているタコノアシは、湿地の乾燥化や護岸工事などで減少しています。また、珠川周辺ではオキナグサが確認されています。専門家によれば、オキナグサは、かつて十日町市全域に分布し、土手などで普通にみられた草花で、今では珠川周辺等限られた場所でしかみられなくなったということです。

※レッドデータブック：絶滅のおそれのある野生生物をリストアップし、その現状を取りまとめた資料集

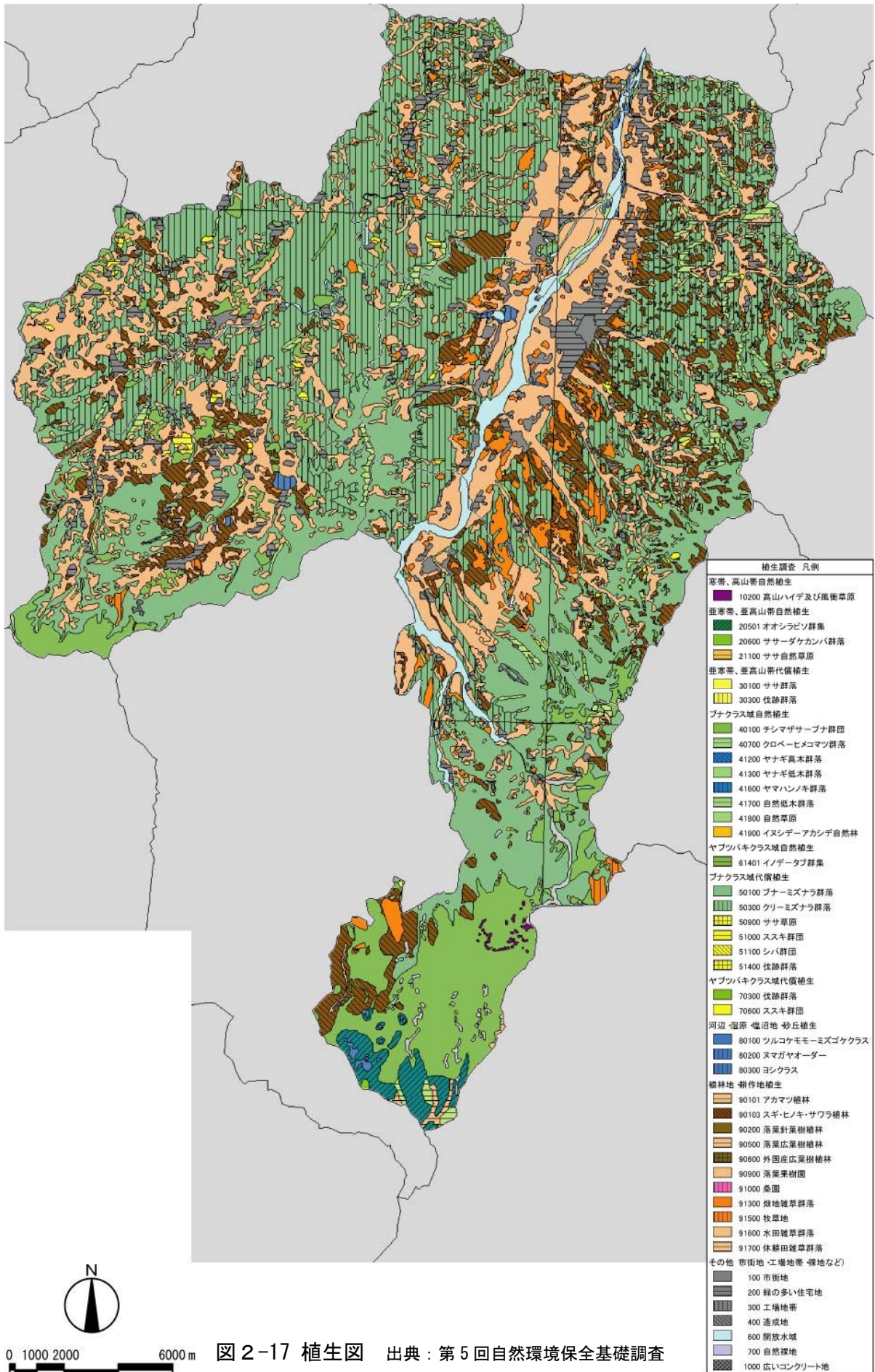
本市の貴重な植物群落としては、表2-14に挙げられるものがあります。

表2-14 貴重な植物群落(特定植物群落)の状況 出典：自然環境保全基礎調査

地域	件名	集約群落名	選定基準	相観区分
川西	長安寺のブナ林	チシマザサーブナ群集	自然林, 郷土景観, 貴重な個体群	冷温帯夏緑 広葉高木林
中里	苗場山小松原の オオシラビソ林	シラビソトウヒ群団	自然林	亜寒帯常緑 針葉高木林
	苗場山小松原のブナ林	チシマザサーブナ群集	自然林	冷温帯夏緑 広葉高木林
	苗場山小松原の 湿原植物群落	ツルコケモモミズゴケクラス(高層湿原) ヌマガヤオーダー(中間湿原)	特殊立地	湿地植生

資料 環境省 自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査(H5～H10)^(※)より

※特定植物群落調査: 日本の多様な植物群落の中から、地域の代表的、典型的な群落や希少な群落などを選定し、分布や生育状況及び変化の状況を把握することを目的とした調査です。



2)本市の動物の概況

本市の身近な動物としては、山林や農地では、キジ・イタチ・テン・ウサギや、カエル・ホタル・トンボ・ヘビなど、多くの種をみることができます。また、当間山周辺などでは、トウホクサンショウウオ・クロサンショウウオ・モリアオガエルもみられます。信濃川では、ウグイやコイ・ウナギ・フナなどの淡水魚が生息しています。支流上流ではイワナ・ヤマメなどもみることができます。

十日町市環境基本計画では、レッドデータブックに掲載されている絶滅のおそれのある種について、人為的な要因によって生育環境が悪化している事例が示されています。昆虫類では、信濃川河川敷堤防に生息する蝶類のミヤマシジミ、両生類では、アカハライモリ・クロサンショウウオ・トウホクサンショウウオ・トノサマガエル、魚類では、メダカ・イワナ・ヤマメ・アカザ・スナヤツメ・カジカ・シナイモツゴ(テッチョ)が減少または減少傾向となっています。シナイモツゴは池沼に生息しており、かつてはどこにでも生息していましたが、ブラックバスやブルーギルなどの外来種等の配慮に欠けた放流が行われたこともあり、大池や珠田貯水池では絶滅したとされています。鳥類については、主に魚沼丘陵に生息するイヌワシ・クマタカなどの猛禽類、ノジコ・サンショウクイ・ブッポウソウなどが生息環境の悪化などで減少しているとされています。

専門家によれば、トウホクサンショウウオは、近年では松之山でも見つかっており、十日町市の山間部に広く分布しているということです。トウキョウダルマガエルは、山間部の水田には分布せず、分布の中心は大河川の河川敷に沿って拓かれた平野的環境の水田であるため、平野部では、トノサマガエルと交雑していると考えられ、よって、トノサマガエルは、主に平野部の水田では減少していますが、山間部での減少は顕著なものではないということです。このほかの種について、両生類では、アカハライモリは農薬・ほ場整備・森林と水辺の分断が原因、クロサンショウウオは農薬・ほ場整備・森林と水辺の分断が原因で減少し、魚類では、水質汚濁のほかに河川改修、堰やダム建設などにより生息環境が悪化したと考えられ、特にカジカやアカザは河川改修や農業排水等で大量の土砂が流入して生息場の礫が埋まったこと、メダカは農薬とほ場整備・河川改修が原因で減少しているということです。

信濃川では、水力発電による減水の影響の調査が行われており、魚類の生息に対する影響としては、すみ場の減少・水温上昇・遡上阻害などの複数の要因があることが分かってきました。

また、近年クマ・イノシシ・サルなどの野生動物による農作物被害・人的被害が問題化しています。平成20年度において、十日町市の農林水産業等の被害(被害金額)は、カラス・タヌキ・カワウによる被害が大半であり、全体の73.6%を占めています。市では、対象鳥獣の捕獲・侵入防止柵等の整備や忌避策の実施、鳥獣に関する学習会等の開催・被害防止の啓発、捕獲体制の充実化などの取り組みを進めています。

※ミヤマシジミ・メダカ・アカハライモリ・トウホクサンショウウオ・クロサンショウウオ・モリアオガエル・トノサマガエル・トウキョウダルマガエル・アカザ・スナヤツメ・シナイモツゴ・イヌワシ・クマタカ・ノジコ・サンショウクイ・ブッポウソウは、環境省または新潟県の絶滅危惧種や準絶滅危惧種に指定されています。

3) 既存文献による生物種

市域に生息・生育する動植物について、主要文献を整理したところ、哺乳類 32 種・鳥類 168 種・爬虫類 9 種・両生類 16 種・魚類 43 種・昆虫類約 400 種・底生動物約 60 種・植物約 1,200 種が記録されていました。対象とした文献は表 2-15 に示すとおりです。

なお、植物においては比較的分類が進んでいる維管束植物のみを対象としました。

表 2-15 文献リスト

〔十日町地域〕 十日町市史 資料編 1. 1992 年. 十日町市 (主に哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・貝類・昆虫類・植物) 〔川西地域〕 川西町史 通史編上巻. 1987 年. 川西町史編さん委員会/編 (主に哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・昆虫類・植物) 川西町の生き物の現地確認の記録. 1991-2002 年. 川西町田園環境整備マスタープランに記載 (主に哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・昆虫類・底生動物・植物) 〔中里地域〕 中里村史 通史編上巻. 1988 年. 中里村史編さん委員会 (主に哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・昆虫類・植物) 〔松代地域〕 松代町史 上巻. 1989 年. 松代町史編さん委員会/編 (主に哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・昆虫類・植物) 松代町の野鳥. 1993 年. 松代町編 (鳥類) 〔松之山地域〕 松之山町史. 1991 年. 松之山町史編さん委員会/編 (主に哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・貝類・昆虫類・植物) 松之山の植物. 1984 年. 松之山町教育委員会/編 (植物) 〔妻有地域〕 妻有の植物. 1985 年. 十日町市立理科教育センター (植物 ※津南町を含む) 〔苗場山・小松原〕 苗場の自然. 2005 年. 十日町市立理科教育センター (植物・昆虫類 ※津南町等を含む)
--

<貴重種>

貴重種の選定にあたっては、表 2-16 に示すように、法律で指定されている種と絶滅のおそれのある種で、レッドデータブック・レッドリストに掲載されている種としました。

文献より、市域において保全すべき動植物を抽出した結果を表 2-17・18 に示します。これらの貴重種は自然環境の指標生物としても注目されます。また、貴重種は市内で実施された田んぼの生き物調査でも、調査の度に確認されています。

表 2-16 貴重種の選定

① 文化財保護法、文化財保護条例における国・県の天然記念物 ② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律における国内稀少野生動植物および緊急指定種 ③ 環境省レッドリスト 1 哺乳類. 2007 年. 環境省 2 鳥類. 2006 年. 環境省 3 爬虫類・両生類. 2006 年. 環境省 4 汽水・淡水魚類. 2007 年. 環境省 5 昆虫類. 2007 年. 環境省 6 陸・淡水産貝類. 2007 年. 環境省 7 維管束植物. 2007 年. 環境省 ④ レッドデータブックにいがた ー新潟県の保護上重要な野生生物ー 2001 年. 新潟県

表2-17 動物文献貴重種リスト

	分類	種名・該当理由	地域・場所
哺乳類	モグラ目	ニホンカワネズミ(RD:-/NT)	十日町、中里、松代、松之山
	コウモリ目	モリアフコウモリ(RD:-E/EN)、ニホンコテンクコウモリ(RD:-/VU)、ニホンヤマコウモリ(RD:NT/VU)	十日町
	ネズミ目	ヤマネ(RD:NT/NT)	中里、松之山(開取)
	ネコ目	ホントオコシヨ(RD:NT/NT)	中里
	ウシ目	ニホンカモシガ(特天)	十日町、川西(開取)、中里、松代、松之山(開取)
鳥類	コウノトリ目	ヨシコイ(RD:NT/-)、ミソコイ(RD:EN/VU)、チュウサキ(RD:NT/NT)	十日町、川西、中里、松代、松之山
	カモ目	オシトリ(RD:DD/-)、トモエカモ(RD:VU/NT)、ホオシロカモ(RD:-/NT)	十日町、川西、中里、松代、松之山
	タカ目	ミサコ(RD:NT/NT)、ハチクマ(RD:NT/NT)、オシロワシ(天、希 I、RD:EN/EN)、オオワシ(天、希 I、RD:VU/EN)、オオタカ(希 I、RD:NT/VU)、ツミ(RD:-/NT)、ハイタカ(RD:NT/NT)、サシバ(RD:VU/-)、クマタカ(希 I、RD:EN/EN)、イヌワシ(天、希 I、RD:EN/EN)、ハヤブサ(希 I、RD:VU/NT)	十日町、川西、中里、松代、松之山
	キジ目	ウスラ(RD:NT/-)	松代
	ツル目	ヒクイナ(RD:VU/VU)	十日町、中里、松代、松之山
	チドリ目	コアジサシ(RD:VU/NT)	十日町、川西
	フクロウ目	コノハズク(RD:-/NT)、アオハズク(RD:-/NT)	十日町、川西、中里、松代、松之山
	ヨタカ目	ヨタカ(RD:VU/NT)	十日町、川西、中里、松代、松之山
	ブッポウソウ目	ヤマセミ(RD:-/NT)、ブッポウソウ(RD:EN/VU)	十日町、川西、中里、松代、松之山
	スズメ目	サンショウクイ(RD:VU/NT)、チコマズ(RD:CR/VU)、アカモズ(RD:EN/VU)、コサメヒタキ(RD:-/NT)、サンコウチョウ(RD:-/NT)、ノジコ(RD:NT/NT)	十日町、川西、中里、松代、松之山
爬虫類			
	ヘビ亜目	シロマダラ(RD:-/LP)	十日町、松之山
両生類	カエル目	トノサマガエル(RD:-/VU)、トウキョウダルマガエル(RD:NT/-)、カシカガエル(RD:-/NT)、モリアオガエル(RD:-/NT)	十日町、川西、中里、松代、松之山
	サンショウウオ目	トウホクサンショウウオ(RD:NT/NT)、クロサンショウウオ(RD:NT/NT)、ハコネサンショウウオ(RD:-/NT)、イモリ(RD:NT/NT)	十日町、川西、中里、松代、松之山
魚類	ヤツメウナギ目	スナヤツメ(RD:VU/NT)、カワヤツメ(RD:VU/NT)	十日町、川西、中里(ヤツメウナギ)スナヤツメ)
	ウナギ目	ウナギ(RD:DD/NT)	十日町、川西、中里
	サケ目	イワナ(RD:DD/-)、ヤマメ(RD:NT/-)、サクラマス(RD:NT/-)	十日町、川西、中里、松之山
	コイ目	ウケクチウグイ(RD:EN/NT)、カワヒガイ(RD:NT/-)、シナイモツコ(RD:CR/NT)、ケンコロウフナ(RD:EN/-)、キンフナ(RD:NT/-)、ヤリタナコ(RD:NT/-)、ホトケトシヨウ(RD:EN/VU)	十日町、川西、松代
	ナマズ目	アカザ(RD:VU/NT)	十日町、川西、中里(ハチュウ)、松之山
	ダツ目	メダカ(RD:VU/NT)	十日町、川西、松代、松之山
	カサゴ目	アユカケ(RD:VU/NT)、カシカ(RD:EN・NT/-)	十日町、川西、中里、松之山
	ニナ目	オオタニシ(RD:NT/-)、マルタニシ(RD:NT/NT)	十日町、川西、松之山
底生動物	モノアラガイ目	モノアラガイ(RD:NT/NT)	十日町、川西、松之山
	イシガイ目	ガラスガイ(RD:NT/NT)、マツカサガイ(RD:NT/NT)	十日町、川西
	マルスダレガイ目	マシジミ(RD:NT/NT)	十日町、川西、松之山
	カメムシ目	コオイムシ(RD:NT/NT)、タイコウチ(RD:-/EN)、キイロマツモムシ(RD:-/NT)	十日町、川西、中里
	コウチュウ目	ゲンゴロウ(RD:NT/NT)、スシゲンゴロウ(RD:CR+EN/-)	十日町、川西、松代、松之山
	トンボ目	ルリイトトンボ(RD:-/VU)、モートンイトトンボ(RD:NT/-)、カラカネイトトンボ(RD:NT/VU)、カトリヤンマ(RD:-/VU)、ホンサナエ(RD:-/VU)	十日町、松代、松之山、苗場山・小松原
陸上昆虫類	カメムシ目	ハルゼミ(RD:-/NT)、アカエゾゼミ(RD:-/NT)	川西、松代、松之山
	チョウ目	ホソバセリ(RD:-/NT)、ミヤマシジミ(RD:VU/VU)、クロシジミ(RD:CR+EN/EN)、ウラギンシジミョウモン(RD:NT/-)、オオウラギンシジミョウモン(RD:CR+EN/EN)、オオミスジ(RD:-/NT)、エルタテハ(RD:-/NT)、オオムラサキ(RD:NT/NT)、キフチョウ(RD:VU/NT)、ベニヒカゲ(RD:NT/NT)	十日町、川西、中里、松代、松之山、苗場山・小松原
	コウチュウ目	スナハラゴミムシ(RD:NT/-)、オオクワガタ(RD:VU/NT)、ヨコヤマヒゲナガカミキリ(RD:-/NT)、ヨツボシカミキリ(RD:VU/-)	松代、松之山

※中里地域の魚類については、(ヤツメウナギ→スナヤツメ、ハチュウ→アカザ) に種名変更して記載

表2-18 植物文献貴重種リスト

分類	種名・該当理由	地域・場所
シダ植物門	ヤチスキラン(RD:-/VU)、イワヒバ(RD:-/VU)、クモノシタ(RD:-/VU)、ナンタイシダ(RD:-/VU)、ツルデンタ(RD:-/NT)、タニヌワヒ(RD:-/VU)、サイコクヘニシタ(RD:-/VU)、ホテイシタ(RD:-/NT)、サンショウモ(RD:NT/VU)	十日町、中里、松代、松之山
裸子植物門 マツ科	カラマツ(RD:-/LP)〈植栽〉	十日町、松代、松之山
被子植物門		
カバノキ科	サクラハハノキ(RD:NT/NT)	十日町
ヤドリギ科	ホサキヤドリギ(RD:-/VU)	松代
ナデシコ科	フシグロセンノウ(RD:-/LP)	中里
キンボウゲ科	オオレイジンソウ、(RD:-/LP)フクジュソウ(RD:-/VU)、ヤマオダマキ(RD:-/VU)、エンコウソウ(RD:-/VU)、リュウキンカ(RD:-/VU)、オキナグサ(RD:VU/EN)	十日町、中里、松之山、妻有、苗場山・小松原
メギ科	イカリソウ(RD:-/NT)、トカクシショウマ(RD:NT/VU)	十日町、中里、松代、松之山、妻有
スイレン科	ジュンサイ(RD:-/VU)、ヒツジグサ(RD:-/VU)	十日町、中里、松代、松之山
マツモ科	マツモ(RD:-/VU)	松之山
ウマノスズクサ科	コシノカンアオイ(RD:NT/NT)	十日町、川西、中里、松代、松之山
アブラナ科	ハクサンハタサオ(RD:-/NT)	中里
ユキノシタ科	タコノアシ(RD:NT/VU)、クサアシサイ(RD:-/LP)、オオシラヒゲソウ(RD:-/VU)	十日町、中里、松之山
バラ科	シモツケソウ(RD:-/NT)、チングルマ(RD:-/LP)、ヤマブキ(RD:-/NT)、カラサヨコ(RD:-/VU)、イワキンバイ(RD:-/VU)、クロイチコ(RD:-/VU)、イワシモツゲ(RD:-/VU)、コメウツギ(RD:-/LP)	十日町、中里、苗場山・小松原
マメ科	イワオウギ(RD:-/LP)	苗場山・小松原
フウロソウ科	ハクサンフウロ(RD:-/LP)	苗場山・小松原
トウダイグサ科	ノウルシ(RD:NT/VU)	十日町
カエデ科	カシカエデ(RD:-/LP)	松之山
スミレ科	アカネスミレ(RD:-/VU)	松之山
ヒシ科	ヒメビシ(RD:VU/VU)	川西
ウコギ科	ミヤマウト(RD:-/LP)	中里
セリ科	ハクサンサイコ(RD:-/LP)	苗場山・小松原
ツツジ科	シラタマノキ(RD:-/LP)、オオハツツジ(RD:-/NT)、ツルコケモモ(RD:-/LP)、クロメノキ(RD:-/LP)	十日町、中里、苗場山・小松原、松之山
サクラソウ科	クリンソウ(RD:-/VU)〈逸出〉	十日町
リンドウ科	タチヤマリンドウ(RD:-/LP)	苗場山・小松原
ミツガシワ科	ミツガシワ(RD:-/VU)	十日町、中里、松代、松之山、妻有
ガガイモ科	スズサイコ(RD:NT/VU)	十日町
ムラサキ科	エチゴリソウ(RD:-/VU)	十日町
シソ科	ヤマトウハナ(RD:-/LP)、ヤマシソ(RD:NT/VU)、イブキジャコウソウ(RD:-/NT)	十日町、中里
ナス科	ハシリトコロ(RD:-/VU)	松之山
フジウツギ科	フジウツギ(RD:-/VU)	中里
ゴマノハグサ科	アブノメ(RD:-/VU)、カワチシャ(RD:NT/NT)	十日町、松代
タヌキモ科	タヌキモ(RD:NT/VU)、ミミカキグサ(RD:-/VU)、ホサキノミミカキグサ(RD:-/VU)	十日町、中里、松代、松之山
オミナエシ科	オミナエシ(RD:-/EN)、コキンレイカ(RD:-/LP)	十日町、中里、妻有、苗場山・小松原
マツムシソウ科	マツムシソウ(RD:-/VU)	中里
キキョウ科	ヒメシヤジン(RD:-/LP)、ミヤマシヤジン(RD:-/LP)、サワキキョウ(RD:-/VU)	中里、松之山、苗場山・小松原
キク科	シオン(RD:VU/-)〈逸出〉、フジハカマ(RD:NT/VU)〈逸出?〉、カセンソウ(RD:-/NT)、ノニガナ(RD:-/VU)、カラニガナ(RD:NT/VU)、オオニガナ(RD:NT/VU)、ヤブレガサ(RD:-/VU)、オナモミ(RD:VU/-)	十日町、中里
オモダカ科	マルハオモダカ(RD:VU/EN)、アキナシ(RD:NT/NT)	十日町、中里、松代、松之山
トチカガミ科	スブタ(RD:VU/VU)、ヤナギスブタ(RD:-/VU)、クロモ(RD:-/VU)、ミズオオハコ(RD:VU/NT)、セキシウモ(RD:-/VU)	十日町、中里、松代、松之山

ヒルムシロ科	コハノヒルムシロ(RD:VU/EN)、フトヒルムシロ(RD:-/NT)、ササハモ(RD:-/EN)	十日町、松之山
ユリ科	ササユリ(RD:-/VU)、ヤマシノホトキス(RD:-/NT)	十日町、中里、松代、松之山
アヤメ科	カキツバタ(RD:NT/VU)、ヒメシャガ(RD:NT/NT)	十日町、中里、松代、松之山
イネ科	ユキクサカホ(RD:EN/NT)	中里
サトイモ科	ヒメカイウ(RD:NT/LP)、サゼンソウ(RD:-/VU)	松之山
ミクリ科	ミクリ(RD:NT/NT)、ホソハタミクリ(RD:-/LP)	十日町、中里、松代
カヤツリグサ科	ヤチスケ(RD:-/LP)、オタルスケ(RD:-/NT)、オオカサスケ(RD:-/NT)、オニナルコスケ(RD:-/VU)、ミカツキグサ(RD:-/VU)、ミヤマイスノハナヒゲ(RD:-/LP)、コウキヤガラ(RD:-/VU)	十日町、中里、苗場山・小松原
ラン科	コアニチトリ(RD:VU/VU)、キンセイラン(RD: VU/EN)、ナツエヒネ(RD: VU/VU)、サルメンエヒネ(RD: VU/EN)、キンラン(RD: VU/VU)、サワラン(RD:-/EN)、コイチョウラン(RD:-/VU)、ミズトシボ(RD: VU/VU)、アリトオシラン(RD:-/VU)、ハクサンチトリ(RD:-/VU)、ウチョウラン(RD:VU/EN)、ツレサキソウ(RD:-/VU)、トキソウ(RD:NT/EN)、ヤマトキソウ(RD:-/VU)、ショウキラン(RD:-/VU)	十日町、中里、松之山、苗場山・小松原

※中里地域の科カブタマについては、自生であるものかは不明

「貴重種の指定・掲載等の状況」凡例

- 文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)、文化財保護条例(新潟県.昭和 48 年条例第 33 号)
(十日町市.平成 17 年条例第 128 号)により指定された種
天:天然記念物 特天:特別天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動物種の保存に関する法律(平成 4 年法律第 75 号)により指定された種
希Ⅰ:国内稀少野生動植物 希Ⅱ:国際稀少野生動植物
- 環境省及び新潟県のレッドデータブック・レッドリストに掲載されている種

RD:環境省ランク/新潟県ランク

○環境省レッドリスト

「環境省レッドリスト 1 哺乳類」(環境省. 2007)に掲載されている種

「環境省レッドリスト 鳥類」(環境省. 2006)に掲載されている種

「環境省レッドリスト 爬虫類・両生類」(環境省. 2006)に掲載されている種

「環境省レッドリスト 汽水・淡水魚類」(環境省. 2007)に掲載されている種

「環境省レッドリスト 昆虫類」(環境省. 2007)に掲載されている種

「環境省レッドリスト 陸・淡水産貝類」(環境省. 2007)に掲載されている種

「環境省レッドリスト 維管束植物」(環境省. 2007)に掲載されている種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

○新潟県レッドデータブック

「レッドデータブックにいがた ―新潟県の保護上重要な野生生物―」(新潟県. 2001)に記載されている種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 EN:絶滅危惧Ⅰ類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 LP:地域個体群

貴重種について農村部でみられる主な種を図2-18に示しました。農村部の水域では、農作業による水の管理が行われるため、人為的な影響を強く受ける環境となっており、このような変化の多い環境は、魚類・両生類・底生動物などの水生生物の生息に大きな影響を与えます。これが農村部の環境の一つの特徴だと言えます。

農村部では、こうした人為的な水域に適応できた生物が生き残ってきたと考えられており、これらの生物の中には貴重種も少なくありません。かつてどこにでもいた生物が今は貴重種となっていることから、以前よりも人為的な影響が過度に強くなったものと考えられます。

農村部の水域は人為的な影響の強い環境ではありますが、生産の場となり広範を占める水田、これを中心に水管理・水の確保に必要な水路やため池などがあり、多様な環境で構成されています。生物の生息にとっては、これらの多様な水域間に連続性のあることが重要となります。また、森林や湧水といった農村部の自然環境の多様性も生物の生息環境を支えています。



図2-18 農村部でみられる主な貴重種 出典：生きもののたちの住む農村を目指して。農林水産省をベースに作成

4) 田んぼの生き物調査

「田んぼの生き物調査」は農林水産省と環境省が連携して、農村部において主要な生物の生息・生育環境となる田んぼやその周辺水域で実施している調査のことです。ここでは、対象環境・調査手法がこれに準じて実施された調査全般を「田んぼの生き物調査」としました。

今回、春季と夏季に2回の現地調査を実施しました。既往調査を含めた田んぼの生き物調査等の実施状況を表2-19に示します。

また、既往調査では、松代地域農村環境計画から地域内で確認された生物種を抽出して併せて整理してあります。

比較のため、両生類、爬虫類、貝類、エビ・カニ類、水生カメムシ・コウチュウ類については地域ごと環境別に整理し、成虫と幼虫を合わせたトンボ類は地域別に整理しました。表2-20のとおり、止水域(ため池・水田・湿地・休耕田)になると、クロサンショウウオ・モリアオガエル・オオタニシ・マルタニシ・大型の水生コウチュウ(ゲンゴロウ・ガムシ)がみられるようになり、流水域(用排水路)になると、トウホクサンショウウオ・カワニナ・サワガニ・ゲンジボタルがみられるようになります。また、魚類では止水域7種に対して流水域では11種と多くなっています。

環境区分ごとの実施数などの課題は残りますが、全体として両生類・底生動物・植物の種数は丘陵地のため池で多く、魚類の種数は用排水路で多い結果で、丘陵地の農村部では良好な環境が残っている、用排水路は接続河川と連続性があることの反映と推察されます。

これらの調査で、シナイモツゴ(十日町地域・川西地域)・トウキョウダルマガエル(中里地域)が確認されています。これらの種では雑種化が広がると、種の存続が危ぶまれることから、正確な分類と生息分布の把握によって、保全を進めていく必要があります。

表2-19 田んぼの生き物調査等実施状況

地域名	調査区分		調査箇所	調査環境								
	今回調査	既往調査		ため池	水田	用水路	排水路	用排水路	湿地	休耕田	ほ場全体	地域全体
十日町	○		六箇麻畑					●				
	○		行寺ため池	●								
		○	赤倉地区	●								
		○	当間地区(当間センター)							●		
		○	当間地区(上村工区)	●		●						
		○	当間地区(下村工区)	●	●	●			●			
川西		○	鶴沼池(名ヶ山)	●								
	○		友重				●					
中里	○		大谷堤(水口沢)	●								
	○		万田倉ため池(本屋敷)	●								
		○	宮峯(小出)	●							●	
		○	七川(市之越)					●			●	
		○	宮沢							●		
松代		○	白羽毛			●						
	○		宮沢入(排水路:ホタル水路)				●					
松之山		○	松代地域(農村環境計画)									●
	○		観音寺	●								
	○		松之山・光間				●					
	○		曾根用水路			●						

表2-20 田んぼの生き物調査等結果概況

環境	十日町地域	川西地域	松之山地域	中里地域	松代地域		
地域全体							
ほ場全体							
ため池・水田	〈両生類〉 クロサンショウウオ アカハライモリ アズマヒキガエル ヤマアカガエル ニホンアカガエル トノサマガエル ツチガエル モリアオガエル シュレーゲルアオガエル ウシガエル 〈魚類〉 シナイモツゴ コイ キンブナ ドジョウ ブラックバス	〈底生動物〉 オオタニシ マルタニシ モノアラガイ サカマキガイ ヒラマキミズマイマイ ヒラマキガイモトキ ヒタリマキミズマイマイ? オオアメンボ ヒメアメンボ ミズムシ オオコオイムシ ミズカマキリ ヒメミズカマキリ マツモムシ コツブゲンゴロウ クロゲンゴロウ ゲンゴロウ ケンケンゴロウ ツブゲンゴロウ コガシラミズムシ コガムシ ガムシ タマガムシ	〈両生類〉 トノサマガエル ツチガエル ウシガエル 〈魚類〉 シナイモツゴ トウヨシノボリ 〈底生動物〉 オオタニシ モノアラガイ トフガイ スジエビ アメンボ ヒメアメンボ マツモムシ コガシラミズムシ	〈両生類〉 クロサンショウウオ ニホンアカガエル トノサマガエル 〈底生動物〉 ヒラマキミズマイマイ オオコオイムシ ミズカマキリ マツモムシ クロス・マメゲンゴロウ コガシラミズムシ ヤマトコマダガムシ キベリヒラタガムシ ガムシ	〈両生類〉 アカハライモリ ヤマアカガエル トノサマガエル モリアオガエル 〈魚類〉 キンブナ メダカ 〈底生動物〉 オオタニシ マルタニシ アメンボ ミズカマキリ ヒメミズカマキリ マツモムシ クロゲンゴロウ ゲンゴロウ オオミズスマシ ガムシ	〈両生類〉 ニホンアカガエル ヤマアカガエル ツチガエル モリアオガエル シュレーゲルアオガエル 〈魚類〉 キンブナ ドジョウ カワニナ ヒラマキミズマイマイ ヒラマキガイ類 アメンボ ミズムシ オオコオイムシ タイコウチ マツモムシ クロゲンゴロウ クロゲンゴロウ幼虫 コガシラミズムシ	〈両生類〉 イモリ モリアオガエル カシカガエル 〈魚類〉 ヤツメドジョウ? カマツカ タナゴ メダカ カシカ 〈底生動物等〉 マルタニシ カワニナ ヤマトエビ? スマエビ モクスガニ サワガニ タガメ ケンシボタル ホタル類
	用排水路	〈両生類〉 トウホクサンショウウオ幼生 ニホンアカガエル ヤマアカガエル トノサマガエル 〈魚類〉 アブラハヤ ドジョウ シマトジョウ ホトケドジョウ 〈底生動物〉 カワニナ サカマキガイ ヒラマキミズマイマイ サワガニ アメンボ シマアメンボ ヒメガムシ ケンシボタル	〈両生類〉 ニホンアカガエル トノサマガエル 〈魚類〉 オイカワ モツゴ タモロコ シマトジョウ キギ 〈底生動物〉 サカマキガイ マシジミ アメンボ シマアメンボ マツモムシ コガムシ ヒメガムシ	〈両生類〉 ニホンアカガエル トノサマガエル 〈魚類〉 ツチガエル カシカガエル モリアオガエル シュレーゲルアオガエル 〈魚類〉 スナヤツメ アブラハヤ モツゴ ドジョウ シマトジョウ ニッコウイワナ カシカ 〈底生動物〉 カワニナ ヒメモノアラガイ ヒラマキガイモトキ キタヨコエビ科 スジエビ サワガニ シマアメンボ オオコオイムシ クロゲンゴロウ ケンシボタル	〈両生類〉 アカハライモリ トウキョウタマカガエル 〈魚類〉 ドジョウ 〈底生動物〉 カワニナ ミズカマキリ タイコウチ	〈両生類〉 ニホンアカガエル ニホンアカガエル トノサマガエル ツチガエル モリアオガエル 〈魚類〉 ドジョウ 〈底生動物〉 カワニナ ヒメアメンボ シマアメンボ マツモムシ クロス・マメゲンゴロウ モンキマメゲンゴロウ属 コシマゲンゴロウ ケンシボタル	
湿地・休耕田	〈両生類〉 ヤマアカガエル トノサマガエル モリアオガエル幼生 〈魚類〉 ドジョウ	〈底生動物〉 コミズムシ ミズカマキリ オオコオイムシ幼虫 マツモムシ コガムシ ガムシ		〈両生類〉 アカハライモリ 〈魚類〉 ドジョウ 〈底生動物〉 オオタニシ タイコウチ			
トンボ類	〈トンボ類〉 アオイトトンボ オオスジイトトンボ? クロイトトンボ キイトトンボ イトトンボ類 オオカワトンボ トラフトンボ クロスジギンヤンマ ギンヤンマ オオイロギンヤンマ? コサナエ ダビドサナエ属 コオニヤンマ サナエトンボ類 オニヤンマ	ショウジョウトンボ シオヤトンボ オオシオカラトンボ チョウトンボ マイコアカネ マダラナニワトンボ ミヤマアカネ アカトンボ類	〈トンボ類〉 アオイトトンボ モノサシトンボ クロイトトンボ クロイトトンボ オオイトトンボ ハグロトンボ オオヤマトンボ ミヤマサナエ コサナエ コオニヤンマ オニヤンマ ショウジョウトンボ ハラビロトンボ シオカラトンボ アキアカネ ノシメトンボ ミヤマアカネ	〈トンボ類〉 アオイトトンボ オオカワトンボ カワトンボ科 タビドサナエ オオルリボシヤンマ オオルリボシヤンマ クロスジギンヤンマ ミルンヤンマ オニヤンマ シオカラトンボ マユタテアカネ アキアカネ	〈トンボ類〉 アオイトトンボ クロイトトンボ カワトンボ科 オオルリボシヤンマ クロスジギンヤンマ コサナエ オニヤンマ マユタテアカネ アキアカネ	〈トンボ類〉 アオイトトンボ ミルンヤンマ オニヤンマ シオカラトンボ	

※太字は今回の調査で確認された種、赤字は貴重種を示す。また、青地は特定外来生物を示す。

5) 農村環境計画を策定していく上での課題

市域における動物や植物について、これまでに整理してきたものは、既存資料等からの市全体の情報、農村部の環境に限定された既往調査および現地調査の結果です。

この農村環境計画の策定を進めるにあたって、今後の環境保全の基本方針、方策や施策で示すべき環境配慮の内容をまとめていくため、ここでは、これまでの基礎資料の内容と専門家から頂いた意見を基に、農村環境計画における環境のとらえ方、環境をネットワーク化していくための課題について考えてみます。

農村環境計画における環境のとらえ方について

市域の農村環境を大まかに区分すると、1：信濃川などの河川沿いに広がる平野部～段丘部に発達した農村、2：棚田に代表される山間部の傾斜地に発達した農村、の2つに区分されると考えられます。

《1：信濃川などの河川沿いに広がる平野部～段丘部》

平野部では近年のほ場整備により、水田については、畔面積が小さくなっていて多種多様な草本類の保全には不向きとなっています。森林からも隔離された水田がほとんどですが、段丘部には森林も残されており、この森林のベルトが生物相の保全に非常に重要な役割を果たしていると考えられます。川や水路については、その周囲の堤防や土手に広い草地が確保されていて、このような場所の自然環境の保全が重要となると考えられます。

《2：山間部の棚田環境》

山間地の農業は、棚田を中心としており、天水と湧水を利用するために、ため池や横井戸などが設けられています。水田については、周囲が森林に囲まれているため、森林と水辺(水田・ため池)がワンセットとなり、森林と水辺を行き来する生物の生存を保障しています。横井戸については、コウモリ類の生息場所にもなっています。棚田には広い畔があり、定期的に草刈りが行われるために、多種多様な草本類の生育を可能にしています。

棚田とその周辺の環境は非常に良好である一方で、高齢化・後継者不足により、水田の放棄が見受けられるため、農村の自然環境に加え、棚田や農村そのものの維持・保全が非常に重要となると考えられます。

この2つの環境区分では、自然生態系としては大きな違いがあり、そこに立地する農村の環境にも影響していると考えられます。しかし、農村部の環境だけをみれば、営農形態や農

地・農業水利施設等の規模や形態、管理状況に違いはあっても、継続的な農の営みによる、人と生物との関わりの上に成立しているという前提は同じであり、共通した特性を多く持つ類似した環境であると考えられます。

農村環境計画では、まず、このような農村部に共通する環境特性について注目し、環境配慮の内容を検討していきます。当然、農村の立地する環境ごとに自然生態系は異なるため、配慮の基本的な考え方や手法は同じであっても、対象とする種や期待される効果には違いが出てきます。

環境をネットワーク化していくための課題

農村環境計画において、環境をネットワーク化していくための課題を下記に示します。

- ① 環境の質の状況
- ② 主要な人為的インパクト
- ③ 地域の人達の環境の捉え方

人とトキが共生する社会へ (tokamachi topics)



(撮影:南雲敏夫さん)

出典：市報とおかまち「だんだん」平成21年2月25日号

平成20年9月25日に佐渡市で放鳥された10羽のトキのうち1羽が、平成21年2月9～28日に十日町市北部の水田地帯で確認されました。その後十日町市を離れましたが、3月8日には、再び同じ場所に飛来しました。

人とトキとの共生のためには、トキをやさしく静かに見守るとともに、餌となる生き物が多いなど、トキに好まれる農村環境づくりも必要となります。

(6) 景観

市街地では街路整備やアーケード整備などにおいて、景観に配慮したまち並み整備の取り組みが実施されています。一方、農村地域においては、豊かな自然や田園風景を背景に集落の形成がなされています。しかし、中山間地域では、人口の減少や高齢化に伴い集落の機能が低下し、景観的に高い評価を得ている棚田や山林などの荒廃が懸念されます。

1) 棚田

本市は美しい里山・棚田が多く、特に棚田については、表2-21に示すとおり、30地区が新潟県の棚田のある風景の認定を受けています。その中でも松之山地域の「狐塚の棚田」は、農林水産省の日本の棚田百選にも選ばれています。

表2-21 新潟県棚田のある風景認定状況 出典：棚田のある風景(新潟県)

名 称	所 在 地	面積(ha)	勾配	備 考
屋敷田	中条丁字屋敷田(十日町)	15	1/10	生態系保全、地域交流
神水	戊字神水(十日町)	12	1/12	都市交流、伝統・文化の維持保全
田毎の月	新座乙字三ツ山(十日町)	15	1/11	歳時記としての景観
倉下	大白倉字長坂(川西)	4	1/15	生態系の保全、景観美
舟ノ木	藤沢字舟ノ木(川西)	8	1/10	生態系の保全、景観美
東田尻	田沢字湯の沢(中里)	19.2	1/3	周辺地域を含んだ景観美
ナギ	田沢字中越(中里)	5.8	1/6	生態系の保全、歳時記としての景観
桐の木平	田沢字のけま(中里)	6.4	1/5	景観美、都市との交流
大原・小原	倉俣字大原(中里)	19	1/12	周辺地域を含んだ景観美
幸ノ神	田代字幸神(中里)	7.8	1/4	伝統・文化の維持保全
峠	峠字香の原他(松代)	30	1/10	生態系保全、景観
儀明	儀明字大久保(松代)	5	1/8	周辺地域を含んだ景観美
室野	室野字安入堂(松代)	12	1/7	生態系の保全
福島	福島字蒲間田(松代)	2.1	1/25	都市部との交流
蒲生	蒲生字トロノキ(松代)	3.5	1/10	生態系の保全
仙納	仙納字ヌケ(松代)	3.8	1/6	生態系の保全
田野倉	田野倉字大堀田(松代)	10	1/12	生態系の保全
蓬平	蓬平字抜ノ下(松代)	2.5	1/10	生態系の保全
城山麓	松代字馬場塚(松代)	2.5	1/10	景観、都市交流
清水	清水字日カゲ(松代)	2	1/6	生態系保全、景観
苧島	苧島字臼切(松代)	1.3	1/10	生態系保全、景観
下山	小屋丸字下山(松代)	1.1	1/18	生態系保全、景観
湯山ふるさと	湯山(松之山)	1.5	1/8	都市との交流
留守原	天水島(松之山)	2.1	1/5	棚田の景観
白山	天水島字白山(松之山)	2.4	1/4	棚田の景観
狐塚	天水越(松之山)	19	1/6	棚田の景観、棚田百選
シンノク	天水越字シンノク(松之山)	3.5	1/7	棚田の景観
千枚田	松之山字格子原(松之山)	10	1/10	棚田の景観
水梨	水梨字下天替(松之山)	6.2	1/9	棚田の景観
川入	湯之島字天狗倉(松之山)	1.1	1/6	棚田の景観

2) 景観調査

本市の景観について、四季の変化の把握、地域に埋もれた景観の確認、景観形成のあり方を模索するために、現地調査を実施しました。市域の各地域を代表する眺望を図2-19に示します。

景観調査の実施状況は表2-22に示すとおりです。地域特性を活かした景観形成を推進するために、自然・歴史等と調和のとれた景観を守りながら、自然との触れあい(親しみやすさ)機能、野生動植物の保全・活用、施設の見た目や環境配慮が望まれます。

表2-22 景観調査実施状況

地域名	自然的景観	生活の風景 (都市・農村)	自然体感空間 (親水等)	花や緑・動物 等の景観	環境に配慮 した施設	自然・歴史等 の調和景観
十日町	十日町盆地 信濃川 魚沼丘陵 冬の信濃川 大池	信濃川と水田 ハス田 都市景観 節季市 菜の花 飛渡川と水田 丘陵の畑地	神明水辺公園 スキー場 十日町雪まつり (楽雪) 結いの里 (農村体験)	冬鳥の渡来地 あてまバード サンクチュアリ 花だいら つつじ原公園	貝ノ川魚道	鎮守 ため池 谷津田 雁木 茅葺き民家
川西	河岸段丘 冬の東頸城 丘陵 小海川	ソバの花 段丘上の水田	節黒城趾 キャンプ場	放水路の湿地 河川の植生 岩瀬ホテルの里	北沢川床固め 雪室 地形に沿った 道路	土水路 棚田 瀬替え はさ木 小白倉集落 杉並木
中里	河岸段丘 清津川	釜川と水田	清津川フレッ シュパーク ダム湖畔 (黄桜の丘公園)		稻荷川護岸 宮中ダム魚道	清津峡温泉郷
松代	渋海川 東頸城丘陵	松代中心地	水車の風景	銀杏の黄葉	渋海川魚道	棚田 松之山街道 茅葺き集落 石垣の集落
松之山	東頸城丘陵 美人林 留山ダム紅葉	渋海川と水田	リバーパーク渋海	牧場	越道川護岸 越道川魚道	棚田 茅葺き集落 はさ掛け 松之山温泉郷 鎮守

(調査対象の景観写真は図2-26を参照)

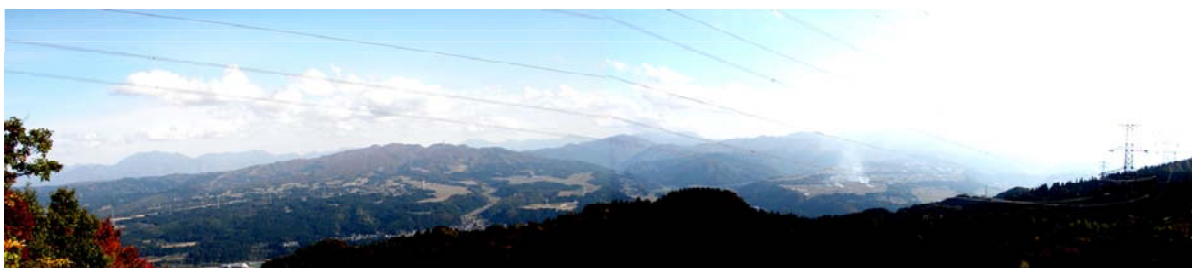
十日町盆地と市街地



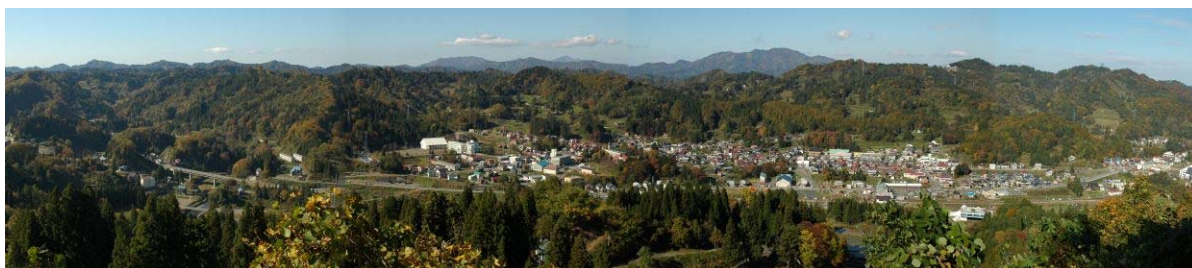
河岸段丘上の川西市街地



中里周辺の河岸段丘



松代地域の中心地



東頸城丘陵の中の松之山



図 2-19 各地域の代表的な眺望

(眺望地点は図 2-26 を参照：☆で表示)

(7) 地域資源

1) 文化財

市域には、信濃川の河岸段丘上に、縄文・弥生時代などの原始及び古代の遺跡や、中世の城館跡が散在し、古くから遺跡の宝庫と言われてきました。特に、縄文時代の火焰型土器を始めとする「笹山遺跡出土品(928点)」は、縄文土器としては国内初、新潟県では唯一の国宝に指定されました。指定文化財の概況は表2-23のとおりです。

このほかにも、越後アンギン製作技術や赤倉・田代・室野・芋島の神楽、大の坂・新保・大寺節・上川手歌舞伎などの民俗芸能、伝統行事が保存・継承されています。

表2-23 十日町市の指定文化財(建造物・史跡・名勝・天然記念物 ※考古資料は除く) 資料:十日町市文化財課
国指定重要文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者・管理者
建造物	星名家住宅	平成 3. 5.31	上野甲	星名 四郎
"	松茸神社本殿	昭和53. 5.31	犬伏	松茸神社
名勝・天然記念物	田代の七ツ釜	昭和12. 6.15	田代	十日町市・津南町
"	清津峠	昭和16. 4.23	小出	十日町市・湯沢町

新潟県指定文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者・管理者
建造物	神宮寺観音堂・山門	平成 3. 3.29	四日町	神宮寺
史跡	大井田城跡	昭和53. 3.31	中条	十日町市
天然記念物	小貫諏訪社の大スギ	昭和53. 3.31	小貫	諏訪神社
"	赤谷十二社の大ケヤキ	昭和33. 3. 5	赤谷	赤谷十二社
"	角間のねじり杉	昭和60. 3.29	角間	角間地区
"	中尾の大杉	昭和33. 3. 5	中尾	中尾地区

十日町市指定文化財

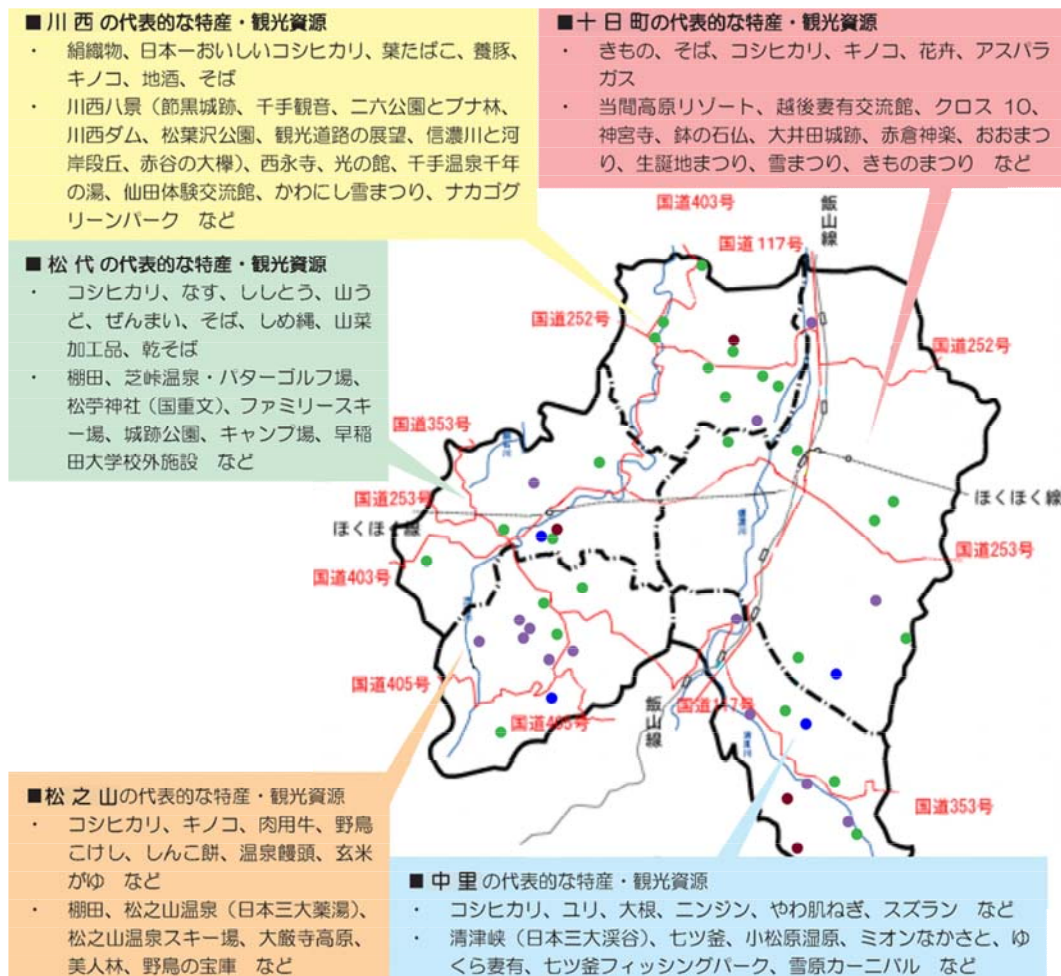
種別	名称	指定年月日	所在地	所有者・管理者
建造物	智泉寺山門	平成 6. 3.23	昭和町3	智泉寺
"	観泉院山門	平成 7. 3.24	土市	観泉院
"	千手観音堂仁王門	昭和54. 6.23	友重	長徳寺
史跡	四日町神宮寺境内地及び山林	昭和47.11.28 追加49. 6.11	四日町	竹内道雄
"	大黒沢正平在銘梵字碑	昭和51. 1.10	大黒沢	村山キノエ
"	鉢の石仏	昭和53. 1.28	鉢	鉢石仏保存会
"	笹山遺跡	平成 4.12. 3	中条上町	岩田栄十郎ほか
"	羽川(秋葉山)城跡	平成10. 3.25	六箇麻畑	麻畑・羽川城跡保存会
"	節黒城跡	昭和50. 2.26	新町新田	十日町市
"	犬伏城	昭和45. 8. 7	犬伏	犬伏区
"	松代城	昭和45. 8. 7	松代	松代地区
"	蒲生城	昭和45. 8. 7	蒲生	蒲生区
"	室野城	昭和45. 8. 7	室野	室野区
"	蓬平城	昭和45. 8. 7	蓬平	蓬平区
"	管領塚	平成 3. 2. 1	天水越	十日町市
名勝	積翠荘	昭和55. 4.11	吉田山谷	酒井うめ子
"	鏡ヶ池	昭和54. 7.25	中尾	中尾地区
"	岩見堂	平成 3. 2. 1	浦田	十日町市
天然記念物	姿箭放神社の大ケヤキ	昭和63. 7.20	姿	箭放神社
"	高麗神社社叢	平成 1.10. 3	背戸	高麗神社
"	安養寺松尾神社の大スギ	平成 4. 3.21	安養寺	安養寺地区
"	安養寺円通庵の三本スギ	平成 4. 3.21	安養寺	安養寺地区
"	枯木又龍王池とカスミザクラ及び三本スギ	平成 6. 3.23	枯木又	枯木又地区
"	入山のカスミザクラ	平成 9. 3.24	入山	山本丑松
"	元町諏訪神社の親子杉	昭和50. 2.26	上野甲	元町諏訪神社
"	藤沢熊野神社の二本スギ	平成 9. 4.28	藤沢庚	藤沢熊野神社奉賛会
"	田戸十二社の二本スギ	平成 9. 4.28	田戸辛	田戸区長
"	白倉のカスミザクラ	平成10. 4.27	小白倉	十日町市
"	牛池の浮島	昭和56. 2.26	海老	海老区
"	大樺	昭和56. 2.26	田沢	十二神社
"	大銀杏	昭和56. 2.26	田沢	十二神社
"	大銀杏	昭和56. 2.26	松代	長命寺
"	大楓(イロハカエデ)	昭和56. 2.26	寺田	井上政身
"	ニッポンシロウリガイ岩化石塊	平成 1.12.14	池尻	十日町市(松代郷土資料館)
"	大樺	平成 1.12.14	室野	洞泉寺
"	大杉	平成 4.12.14	室野	室野区
"	オハツキ銀杏	平成 4.12.14	勘平	高橋 宏至
"	白藤	平成 4.12.14	寺田	井上 功
"	川底の甌穴	平成 9. 3.11	松代田沢	新潟県
"	大ケヤキ	平成 3. 2. 1	小谷	小谷地区
"	庚申夫婦杉	平成 3. 2. 1	大荒戸	大荒戸地区
"	ブナ原生林	平成 3. 2. 1	天水越	十日町市

2) 主要な観光レクリエーション資源等

日本三大薬湯のひとつ松之山温泉、柱状節理の溪谷美を誇る清津峡、豊かな環境に包まれた当間高原リゾート、大地の芸術祭の開催をきっかけとするアートのあるまちづくりなどを資源としながら交流人口の拡大を進めています。また、農山村であることを活かしたグリーンツーリズムへの対応、構造改革特区の制度を活用したどぶろくの製造など多様な活動を展開してきています。

図2-20のイベントで、十日町雪まつりが冬の日本海側最大の祭りとなっており、川西・中里・松代・松之山の各地域でも、季節を楽しむ伝統行事やイベントが行われています。

また、お土産や特産品には農産物・加工品も多く、コシヒカリ、そば、キノコ、山菜などが挙げられます。



月	主な祭りイベント	地域	月	主な祭りイベント	地域
1月	クロスカントリースキー大会	松代	6月	当間高原アイリスまつり	十日町
	むこ投げ・すみ塗り	松之山		千年の森コンサート	川西
2月	十日町雪まつり	十日町		あじさいまつり	十日町
	越後松之山豪雪塾	松之山		二千年蓮まつり	十日町
	多聞天裸押合祭り	十日町	7月	千手観音十七夜まつり	川西
	かわにし雪まつり	川西		セツ釜まつり	中里
3月	雪原カーニバル	中里		観音祭	松代
	越後まつだい冬の陣	松代		十日町おおまつり	十日町
	松之山温泉スキーカーニバル	松之山	8月	犬伏裸まつり	松代
4月	黄桜の丘桜祭り	中里		真夏の雪まつり	松之山
	長者が原桜祭り	川西	9月	千手まつり	川西
5月	十日町きものまつり	十日町	10月	生誕地まつり	十日町
	セツ詣り	松代		きのご講習会	松之山
	松之山温泉まつり	松之山	11月	かわにし自慢祭	川西

図2-20 十日町市の主な特産・観光資源・イベント 出典：新市将来構想を編集

＜主要施設の分布状況＞

図2-21をみると、日常的に多くの市民が利用する医療施設や商業施設、教育施設などの主要な施設は、十日町市役所・川西支所・中里支所・松代支所・松之山支所の周辺に集まっています。

特に、十日町市役所の周辺には、数多くの公共公益施設が集中しており、市民生活における重要な地域であることがうかがえます。

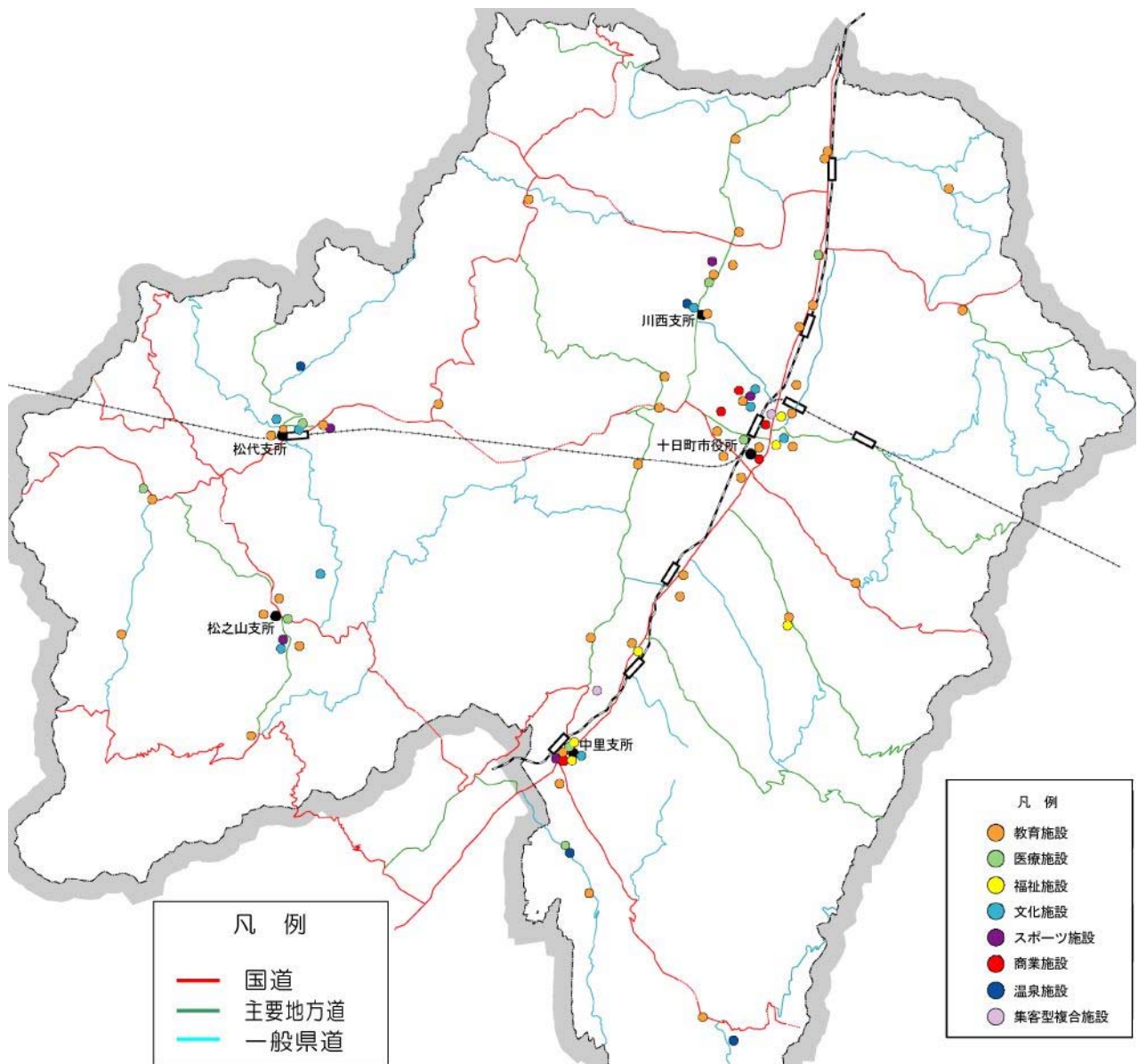


図2-21 主要施設の分布図 出典：十日町市地域生活交通基本計画を編集

＜冬の伝統行事＞

冬に行われる伝統行事として、婿投げ・スミぬり・バイトウなどは、文化財にも指定されています。昔に比べ小規模となっていますが、小正月行事が残っている集落もあります。

小正月は「百姓の正月」といわれているようにその年の農作物の豊作を祈る行事が多くなっています。十一日若木迎え、十三日作木飾り、十四日鳥追い、十五日モグラモチ追い、ドウラク神焼、十六日仏様参りなどがあります。この他にも十七日～二月一日までヨーベス様の年取りやジン焼などの行事があったようです。

出典：広報なかざと、1983.1

3) 注目すべき地域資源

本市には、多種多様の地域資源が数多くあります。これらのうち、農村環境の保全や農業農村の活性化と結びつく注目すべき地域資源を抽出して、表2-24に整理しました。

表2-24 注目すべき地域資源

すぐれた自然	●田代の七ツ釜 ●清津峡 ●小貫諏訪社の大スギ ●赤谷十二社の大ケヤキ ●角間のねじり杉 ●中尾の大杉 ●姿箭放神社の大ケヤキ ●高竈神社社叢 ●安養寺松尾神社の大スギ ●安養寺円通庵の三本スギ ●枯木又龍王池とカシミザクラ及び三本スギ ●入山のカシミザクラ ●元町諏訪神社の親子杉 ●藤沢熊野神社の二本スギ ●田戸十二社の二本スギ ●白倉のカシミザクラ ●牛池の浮島 ●田沢の大樺・大銀杏 ●松代の大銀杏 ●寺田の大楓(イロハカエデ) ●室野の大樺 ●室野の大杉 ●筋平のオハツキ銀杏 ●寺田の白藤 ●松代田沢の川底の甌穴 ●小谷の大ケヤキ ●大荒戸の庚申夫婦杉 ●天水越のブナ原生林 ●上信越高原国立公園 ●直峰松之山大池県立自然公園 ●小松原(自然環境保全地域) ●長安寺(緑地環境保全地域)など
農業農村資源	●棚田 ●渋海川の瀬替え・まぶ(素堀りの用水路トンネル) ●小白倉集落等の農村集落 ●信濃川沿いを中心とする生産基盤の整った農地 ●カントリーエレベーター・堆肥センターや農業公社等の主要農業関連施設 ●ふれあいセンター等の地域コミュニティの主要施設 ●地域の情報拠点(情報の発信・集積) ●地場産農産物 ●農産物直売所 ●農産物特産品(加工品) ●牧場 ●松之山街道 ●雪室 ●温泉等の集客施設 ●地産地消イベント等の集客イベントなど
農村・自然体験	●当間高原リゾートベルナティオ ●キナーレの体験工房館 ●結いの里 ●枯木又エコミュージアム ●仙田体験交流館キラリ ●松代農舞台 ●芝峠温泉体験交流施設 ●森の学校キョロロ ●構造改革特区(農業特区) ●農家民宿 ●溪流釣り(信濃川・清津川・釜川) ●ホテル観賞 ●自然観察 ●山菜・木の実とり ●妻有陶芸センター ●農業体験 ●そば打ち体験 ●手織り・染物体験 ●小物作り体験 ●紙づくり体験 ●フラワーアレンジ体験 ●ウォーキング・ハイキング・トレッキングコース ●親水空間 ●キャンプ場など
活用プログラム・ガイド等	●松代・松之山里山案内人ガイド(里山悠遊) ●学習プログラム(地域連携による農村ならではの学習展開) ●キョロロ里山体験プログラム ●あてま自然学校プログラム ●探鳥会(松之山)など
田んぼの生き物・地域の景観	●田んぼの生き物(ため池、水田、用水路、排水路、湿地、休耕田などの生き物) ●地域の景観(自然的景観、生活の風景、自然体感空間、花や緑・動物等の景観、環境に配慮した施設、自然・歴史等の調和景観など)
農村の伝統	●十日町茅葺職人 ●屋根葺(茅葺)技術 ●赤倉神楽 ●中条の大の坂 ●新保広大寺節 ●新水のドウラクジン(道楽神)とハネツケーン(羽根返し) ●水沢の石場かち ●千手露香 ●野口の神楽獅子舞 他 ●田代神楽 ●室野の神楽舞 ●芋島の神楽舞 ●犬伏の裸太鼓 ●上川手歌舞伎 ●婿投げ ●スミぬり ●越後アングイン制作技術など

2. 住民意向の把握

(1) 意向調査の概要

本市における農業・農村及び環境に関する住民意向の把握のために、アンケート調査を実施しました。

1. アンケートの目的

農村環境計画の策定において、地域の環境や農業に関する市民の意識や意見を把握するとともに、それらを計画の内容に反映する。

2. アンケートの対象

幅広い年齢層の意識を把握するため、中学生と一般成人を対象とする。中学生については、市内の全中学校の一年生(以降中学生と記載)を対象とし、一般成人(以降一般と記載)は、20歳以上の市内在住者から無作為に抽出した1,000名を対象とした。

3. アンケートの設問構成

【 一 般 】	【中学生】
■回答者の属性について ・性別(1-1) ・年代(1-2) ・職業(1-3) ・居住地域(1-4) ■地域について ・地域の様子と自慢(2-1) ・住環境の満足度(2-2) ・地域の将来像(2-3) ■環境について ・地域の自然で感じることと大切な自然(3-1) ・環境保全の取組(3-2) ・環境活動への参加(3-3) ■農業や農村について ・農業農村の持つ機能(4-1) ・今後必要とされる取り組み(4-2) ■環境問題について ・関心のある環境問題(5)	■回答者の属性について ・性別(1-1) ・居住地域(1-2) ■地域について ・地域の様子と自慢(2-1) ・地域の将来像(2-2) ■環境について ・地域の自然で感じることと大切な自然(3-1) ・環境保全の取組(3-2) ・環境活動への参加(3-3) ■農業や農村について ・農業農村の持つ機能(4) ■環境問題について ・関心のある環境問題(5)

※ ()内は設問番号、以降同様

(2) アンケートの結果

アンケートの結果については、まず一般・中学生の地域別構成バランスや、一般における回答者の属性などの傾向を示します。これを基に一般と中学生との意識・考え方の違いや地域での違い、地域内にみられる共通性などに注目していきます。

■回収数

一般では回収数 522 で回収率が 52.2%、中学生では回収数 505 で回収率が 92.3%となっています。

一般	配布数	回収数	回収率	中学生	配布数	回収数	回収率
	1,000	522	52.2%		547	505	92.3%

■設問別回答率

設問ごとに回答率をみると、記述式に比べ択一式の回答率は高く、概ね 9 割以上が回答しています。

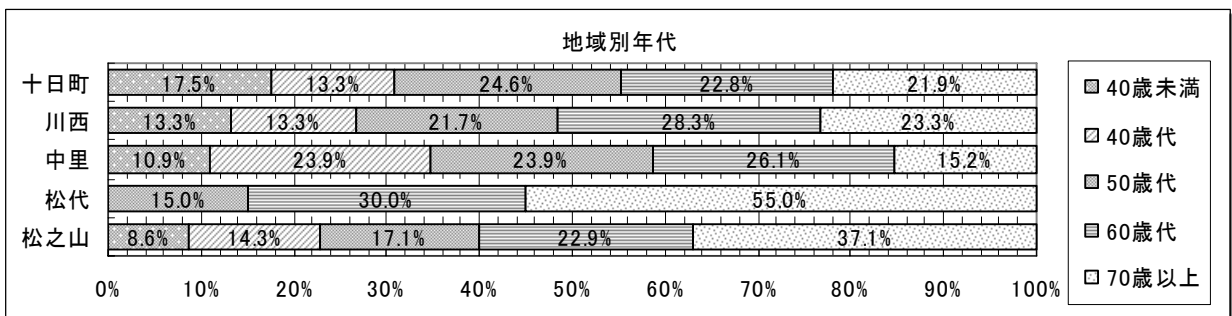
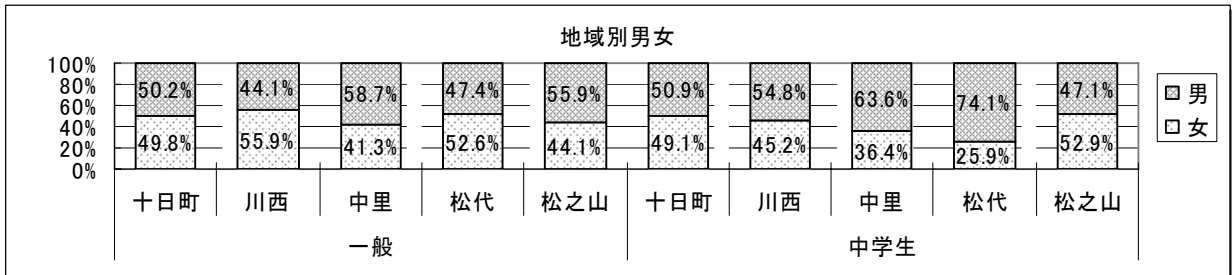
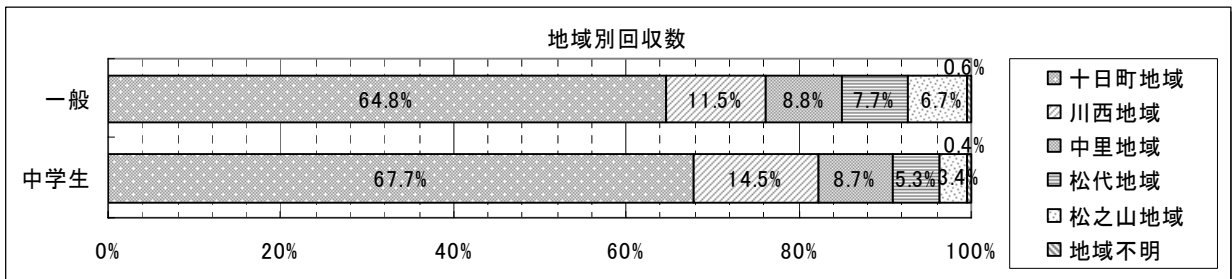
設問	番号	1-1	1-2	1-3	1-4	2-1		2-2		2-3	3-1		3-2	3-3	4-1	4-2	5
	形式	択一	択一	択一	択一	択一	記述	択一	記述	択一	択一	記述	択一	択一	択一	択一	記述
一般	回答数	504	519	516	519	504	193	502	259	973	502	177	992	936	991	1453	120
	回答率	96.6%	99.4%	98.9%	99.4%	96.6%	37.0%	96.2%	49.6%	93.2%	96.2%	33.9%	95.0%	89.7%	94.9%	92.8%	23.0%
設問	番号	1-1	1-2	2-1		2-2	3-1		3-2	3-3	4	5					
	形式	択一	択一	択一	記述	択一	択一	記述	択一	択一	択一	記述					
中学生	回答数	505	503	495	397	958	503	309	971	502	964	112					
	回答率	100.0%	99.6%	98.0%	78.6%	94.9%	99.6%	61.2%	96.1%	99.4%	95.4%	22.2%					

■傾向のとりえ方

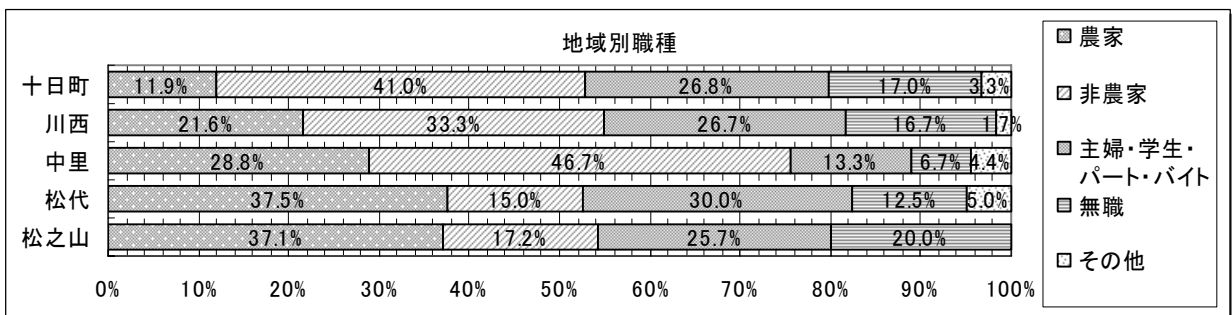
回答者の傾向のグラフを次ページに示しました。一般では地域別の年代・職種に地域ごとの差異がみられます。また、一般と中学生を比較してみたときに、地域別回収数では、地域ごとに占める割合が一般と中学生で類似しています。

一般と中学生の比較、地域別の比較、地域内での一般と中学生の比較によって、傾向をとれます。

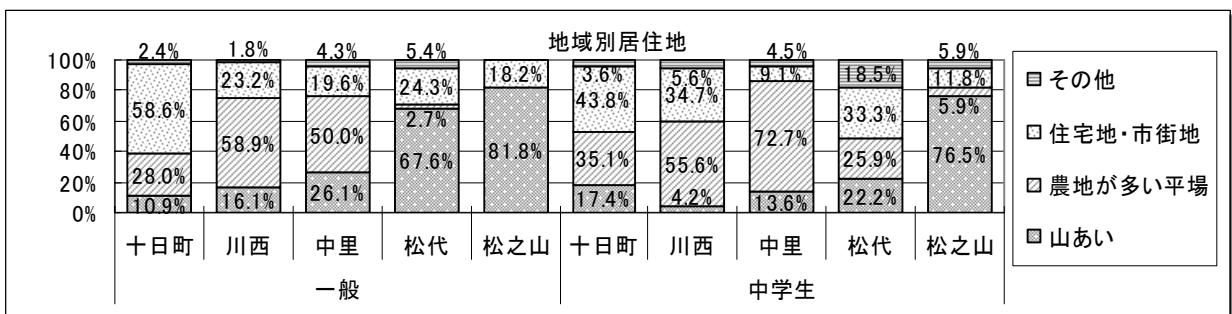
■回答者の傾向のグラフ



※ 設問は一般のみ



※ 設問は一般のみ



＜一般・中学生別にみる傾向＞

■あなたのことについて、お聞かせください。

[設問]あなたの性別について、選んでください。				選択数	一般	中学生
				1	(1-1)	(1-1)
区分		回答数	構成比			
一般	男	254	50.4%			
	女	250	49.6%			
中学生	男	272	50.9%			
	女	233	49.1%			

[設問]あなたの年齢について、選んでください。				選択数	一般	中学生
				1	(1-2)	—
☐ ①20歳代〔29〕 ☐ ②30歳代〔46〕 ☐ ③40歳代〔69〕 ☐ ④50歳代〔119〕 ☐ ⑤60歳代〔126〕 ☐ ⑥70歳以上〔130〕						
年代別構成比 ☐ ① 5.6% ☐ ② 8.9% ☐ ③ 13.3% ☐ ④ 22.9% ☐ ⑤ 24.3% ☐ ⑥ 25.0%						
○年代が上がるにつれ、比率が高くなっています。特に50歳代以上からの割合が高くなります。						
※〔 〕内は回答数、以降同様						

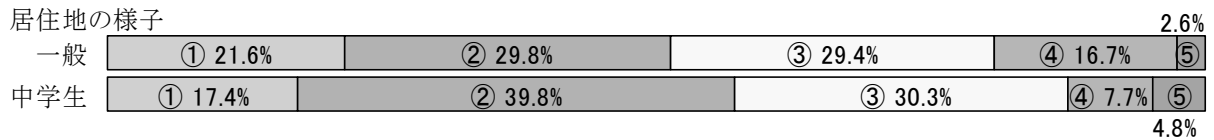
[設問]あなたの職業について、選んでください。				選択数	一般	中学生
				1	(1-3)	—
☐ ①専業農家〔22〕 ☐ ②兼業農家〔72〕 ☐ ③自営業〔44〕 ☐ ④会社員・公務員など勤め人〔147〕 ☐ ⑤パート／アルバイト〔30〕 ☐ ⑥学生〔5〕 ☐ ⑦主婦〔98〕 ☐ ⑧無職〔82〕 ☐ ⑨その他〔16〕						
職業別構成比 ☐ ① 4.3% ☐ ② 14.0% ☐ ③ 8.5% ☐ ④ 28.5% ☐ ⑤ 5.8% ☐ ⑥ 1.0% ☐ ⑦ 19.0% ☐ ⑧ 15.9% ☐ ⑨ 3.1%						
○会社員などの勤め人の割合が一番高くなっています。また、農家よりも非農家の割合が高くなっています。						

[設問]あなたのお住まいの地域について、選んでください。				選択数	一般	中学生
				1	(1-4)	(1-2)
区分	十日町	川西	中里	松代	松之山	
一般	338	60	46	40	35	
中学生	342	73	44	27	17	
☐ ①十日町 ☐ ②川西 ☐ ③中里 ☐ ④松代 ☐ ⑤松之山						
居住地域 ☐ ① 65.1% ☐ ② 11.6% ☐ ③ 8.9% ☐ ④ 7.7% ☐ ⑤ 6.7%						
一般 ☐ ① 68.0% ☐ ② 14.5% ☐ ③ 8.7% ☐ ④ 5.4% ☐ ⑤ 3.4%						
○一般と中学生で地域ごとに占める割合が似ています。						

■あなたのお住まいの地域について、お聞かせください。

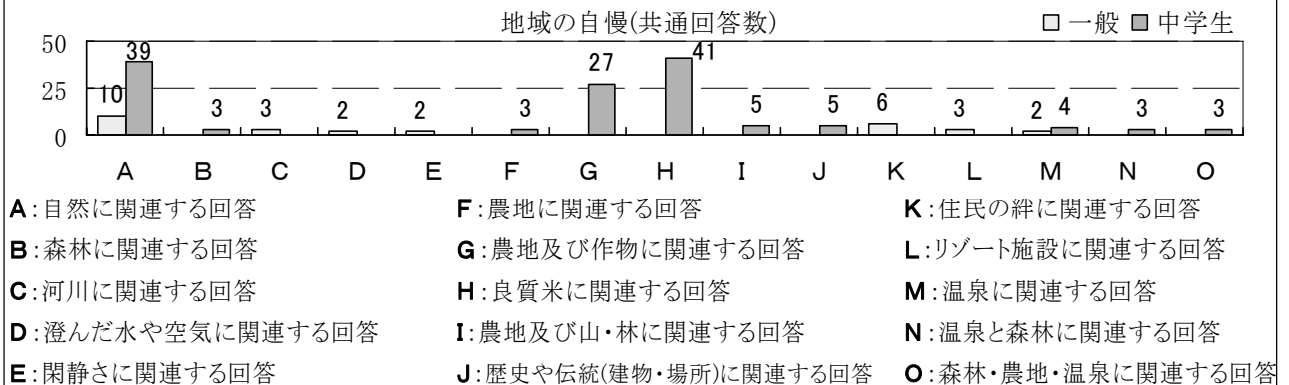
[設問]お住まいの地域の様子について、選んでください。					選択数 1	一般 (2-1)	中学生 (2-1)
区分	①	②	③	④	⑤		
一般	109	150	148	84	13		
中学生	86	197	150	38	24		

- ☐ ①住宅がまばらな山あい ☐ ②水田や畑が広がっている平場
☐ ③どちらかというと農地よりも住宅が多い ☐ ④市街地
☐ ⑤その他



○項目によっては、数値に差がありますが、それぞれの割合の順位は同じです。

[設問]あなたが地域で自慢したいと思う場所やことをご記入ください。					記述式	一般 (2-1)	中学生 (2-1)
-----------------------------------	--	--	--	--	-----	-------------	--------------



○一般で最も多いのは「自然に関連する回答」で、次いで「住民の絆に関連する回答」となっています。

○中学生で最も多いのは「良質米に関連する回答」で、近差で「自然に関連する回答」が次いでいます。また、「農地及び作物に関連する回答」も多くなっています。

[設問]あなたの住んでいる地域の自然や街並み、道路や公園等の公共施設などの住環境の満足度について、選んでください。					選択数 1	一般 (2-2)	中学生 —
---	--	--	--	--	----------	-------------	----------

- ☐ ①非常に満足している [23] ☐ ②満足している [226]
☐ ③やや不満がある [199] ☐ ④非常に不満がある [51]



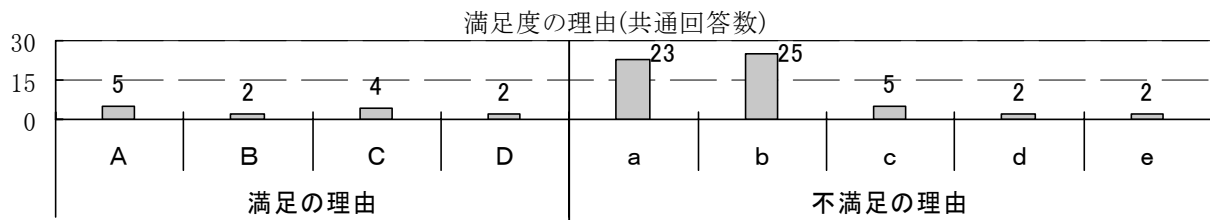
○「満足している」の回答と「不満がある」の回答がほぼ半分ずつでした。

【設問】住環境の満足度について、選んだ理由もご記入ください。

記述式

一般
(2-2)

中学生
—



【満足の理由】

A: 不満がないとする回答

B: まちにも自然にも近いとする回答

C: 道路に関連する回答

D: 消雪・除雪に関連する回答

【不満足の理由】

a: 公園に関連する回答

b: 道路に関連する回答

c: 消雪・除雪に関連する回答

d: 過疎化に関連する回答

e: 買い物に関連する回答

○満足の理由では「不満がないとする回答」、「道路に関連する回答」が多くなっています。

○不満足の理由で最も多いのは「道路に関連する回答」で、近差で「公園に関連する回答」が次いでいます。

【設問】あなたが考える地域の将来のイメージについて、選んでください。

選択数

一般

中学生

区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
一般	203	56	136	109	174	221	43	25
中学生	317	61	135	130	108	132	51	20

■ ①まわりに自然が多く残っている地域

■ ③自然や昔ながらのまち並みなど美しい景観のある地域

■ ⑤農業を大切にし、続けていく地域

■ ⑦何よりも便利さを求め都市化をすすめる地域

■ ②多くの人が訪れる観光がさかんな地域

■ ④文化、伝統を守り、大切にしていける地域

■ ⑥仲間づくりや支え合いを大切にする地域

■ ⑧その他

地域の将来像

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
一般	21.0%	5.8%	14.1%	11.3%	18.0%	22.9%	4.4%	2.6%
中学生	33.2%	6.4%	14.2%	13.6%	11.3%	13.8%	5.3%	2.1%

○一般で最も割合が高いのは「仲間づくりや支え合いの地域」で、近差で「まわりに自然が多い地域」が次いでいます。
これに、「農業を大切に続けていく地域」が続いています。

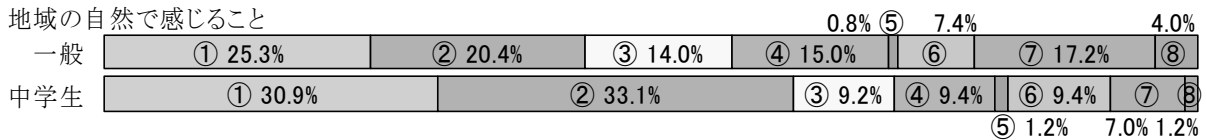
○中学生で最も割合が高いのは「まわりに自然が多い地域」で、次いで「美しい景観のある地域」となっています。

■あなたの身のまわりの環境について、お聞かせください。

[設問] 地域の自然についてあなたが感じていることを、選んでください。						選択数 1	一般 (3-1)	中学生 (3-1)
区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
一般	126	102	70	75	4	37	86	20
中学生	155	166	46	47	6	47	35	6

- ☐ ①池や川に魚やカエルなどの水辺の生き物がいる
☐ ②森林や公園などに花や緑が多い
☐ ③水田・水路にホタルや小魚などがよく見られる
☐ ④身近なところで野鳥を見ることができる
☐ ⑤自然のままの湿原や池沼がたくさんある
☐ ⑥チョウやトンボ・カブトムシなど昆虫が多い
☐ ⑦自然が少なく残念に思う
☐ ⑧その他

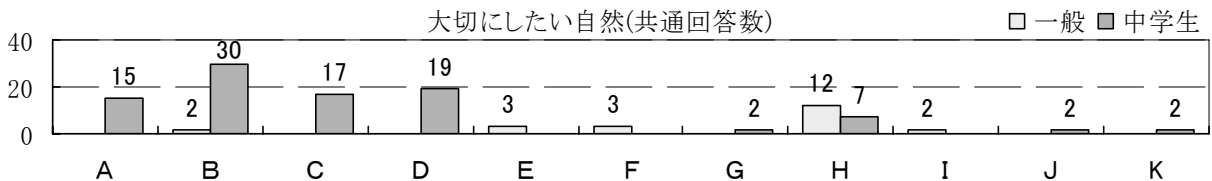
地域の自然で感じること



○一般で最も割合が高いのは「水辺の生き物がいる」で、次いで「花や緑が多い」となっています。続いて「自然が少ない」の割合が高くなっています。

○中学生で最も割合が高いのは「花や緑が多い」で、近差で「水辺の生き物がいる」が次いでいます。

[設問] あなたが大切にしたいと思う地域の自然や動植物をご記入ください。		記述式	一般 (3-1)	中学生 (3-1)
--------------------------------------	--	-----	-------------	--------------



A: 全ての自然とする回答

B: 森林に関連する回答

C: ブナ(林)に関連する回答

D: 木についての回答

E: 信濃川についての回答

F: きれいな川(河川水)に関連する回答

G: 魚と回答

H: ホタルについての回答

I: 水田及びホタルに関連する回答

J: カモシカと回答

K: ヨコヤマヒゲナガカミキリと回答

○一般で最も多いのは「ホタルについての回答」で、河川と関係している回答も多くなっています。

○中学生で最も多いのは「森林に関連する回答」で、次いで「木についての回答」、「ブナ(林)に関連する回答」が多くなっています。

【設問】身のまわりの環境を大切にすることを意識を高めるには、どうしたら良いと思いますか。選んでください。

選択数	一般	中学生
2	(3-2)	—

- ☐ ① 野外で遊ぶなど子どもの自然体験の機会を増やす [265] ☐ ② 田植えや収穫などの子どもの農業体験の機会を増やす [162]
☐ ③ 魚やホタル・トンボなどの生き物をみんなで調べる機会をつくる [77] ☐ ④ 学校教育や社会教育で環境教育の時間を増やす [160]
☐ ⑤ みんなで地域の環境についての話し合いや合意形成の場をつくる [112] ☐ ⑥ 年配の方から昔の自然のことや生活の知恵などの話を聞く機会をつくる [107]
☐ ⑦ 環境に関する情報の発信や入手が簡単にできるようにする [86] ☐ ⑧ その他 [17]

環境保全の取組

一般	① 26.9%	② 16.4%	③ 7.8%	④ 16.2%	⑤ 11.4%	⑥ 10.9%	⑦ 8.7%	⑧ 1.7%
----	---------	---------	--------	---------	---------	---------	--------	--------

【設問】あなたは環境を良くするために、どんなことをしたら良いと思いますか。選んでください。

選択数	一般	中学生
2	—	(3-2)

- ☐ ① 森林・川や池などの自然はそのままにする [208] ☐ ② 里山の手入れや川をきれいにするなど、生き物がすみやすい環境にもどす [255]
☐ ③ 自然観察会などで地域の自然を知る機会をふやす [32] ☐ ④ ゴミと資源を分別する・水や電気を大切に使う [280]
☐ ⑤ 将来の環境についてみんなで考えていく [65] ☐ ⑥ 環境について教えてくれる人をふやす [15]
☐ ⑦ 市街地に公園や街路樹などの花や緑をふやす [107] ☐ ⑧ その他 [5]

環境保全の取組

中学生	① 21.5%	② 26.4%	③ 3.3%	④ 29.0%	⑤ 6.7%	⑥ 1.6%	⑦ 11.1%	⑧ 0.5%
-----	---------	---------	--------	---------	--------	--------	---------	--------

○一般で最も割合が高いのは「自然体験を増やす」で、次いで「農業体験を増やす」、「環境教育の時間を増やす」となっています。

○中学生で最も割合が高いのは「ゴミの分別や節水・節電」で、次いで「生き物の環境をとりもどす」、「自然をそのまま保全」となっています。

【設問】あなたが参加したいと思う、地域づくり・環境美化や保全活動の前提条件について、選んでください。

選択数	一般	中学生
2	(3-3)	—

- ☐ ① 自分の特技がいかに活動に参加したい [127] ☐ ② 地域の魅力などを多くの人に知ってもらえる活動に参加したい [132]
☐ ③ 多くの人と知り合え、情報交換などができる活動に参加したい [199] ☐ ④ 家族で参加できる活動に参加したい [138]
☐ ⑤ どんな活動でも参加したい [26] ☐ ⑥ 簡単な作業であれば参加したい [238]
☐ ⑦ 参加できない、参加したくない [50] ☐ ⑧ その他 [21]

環境活動への参加

一般	① 13.6%	② 14.2%	③ 21.4%	④ 14.8%	⑤ 2.8%	⑥ 25.6%	⑦ 5.4%	⑧ 2.3%
----	---------	---------	---------	---------	--------	---------	--------	--------

【設問】環境を良くするには行動することが必要です。人や生き物にとって大切な自然環境を守るに活動に参加できますか。

選択数	一般	中学生
1	—	(3-3)

- ☐ ① やりたい活動であれば参加したい [143] ☐ ② 友達と一緒にあれば参加したい [228] ☐ ③ どんな活動でも参加したい [38]
☐ ④ 簡単な作業であれば参加したい [61] ☐ ⑤ 参加できない、参加したくない [19] ☐ ⑥ その他 [11]

環境活動への参加

中学生	① 28.6%	② 45.6%	③ 7.6%	④ 12.2%	⑤ 3.8%	⑥ 2.2%
-----	---------	---------	--------	---------	--------	--------

○一般で最も割合が高いのは「簡単な作業であれば参加」で、次いで「多くの人と知り合える活動に参加」となっています。

○中学生で最も割合が高いのは「友達と一緒にあれば参加」で、次いで「やりたい活動であれば参加」となっています。

■農業や農村について、お聞かせください。

【設問】食料生産以外で農業や農地の役割で重要と思われる機能について、選んでください。	選択数	一般	中学生
	2	(4-1)	—

- ☐ ①水田がダムの役割を持ち、洪水や土砂災害を防ぐ機能〔143〕
☐ ②水質の浄化や健全な土づくりによる有機物(肥料)の還元を促進する機能〔136〕
☐ ③ホタル・ドジョウやカエルなどの生き物を育む機能〔125〕
☐ ④美しい自然景観や農村景観をつくりだす機能〔151〕
☐ ⑤農業体験などを通じて、社会教育や情操面に貢献する機能〔82〕
☐ ⑥農作業や共同の管理作業などに多くの人が参加して楽しさや賑わいをつくる機能〔89〕
☐ ⑦食の身近さや食の安心を実感できる機能〔245〕
☐ ⑧その他〔14〕

農業農村の機能

一般	① 14.5%	② 13.8%	③ 12.7%	④ 15.3%	⑤ 8.3%	⑥ 9.0%	⑦ 24.9%	⑧ 1.4%
----	---------	---------	---------	---------	--------	--------	---------	--------

【設問】農作物をつくる以外に農業や農村にどんな機能があると思いますか。選んでください。	選択数	一般	中学生
	2	—	(4)

- ☐ ①水田は雨水をためられるので洪水や土砂くずれを防いでいます〔108〕
☐ ②水をきれいにすることや堆肥を土に戻すことで土を良くすることに貢献しています〔119〕
☐ ③ホタル・ドジョウやカエルなど多くの生き物が水田にいます〔240〕
☐ ④棚田やソバ畑の花などが、美しい景観をつくっています〔63〕
☐ ⑤魚採りや虫採りなどの体験や農作物の世話をしたりする経験ができます〔68〕
☐ ⑥地域の人が集まるお祭りや行事などが多く、にぎわいをつくっています〔158〕
☐ ⑦とりたての野菜をおいしく食べることや郷土料理をつくるなど「食」を大切にしています〔196〕
☐ ⑧その他〔8〕

農業農村の機能

中学生	① 11.3%	② 12.4%	③ 25.0%	④ 6.6%	⑤ 7.1%	⑥ 16.5%	⑦ 20.4%	⑧ 0.8%
-----	---------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	--------

○一般で最も割合が高いのは「食の身近さ・安心の実感」で、次いで「美しい景観をつくりだす」・「生き物を育む」となっています。

○中学生で最も割合が高いのは「多くの生き物が水田にいる」で、次いで「食を大切にしている」・「にぎわいをつくっている」となっています。

【設問】これからの農業に必要なことや農村活性化のために必要な取り組みについて、選んでください。	選択数	一般	中学生
	3	(4-2)	—

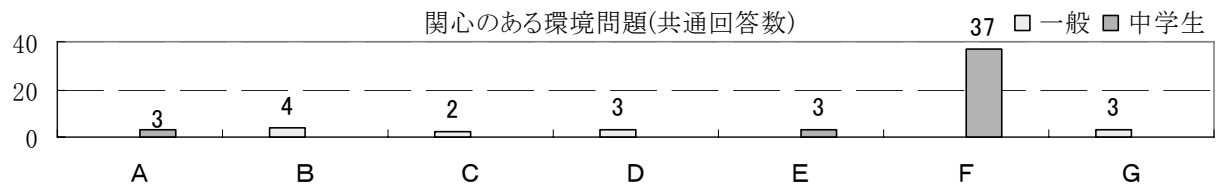
- ☐ ①農村ならではの「景観」「伝統文化」「行事」の保全・継承と観光等への利活用〔124〕
☐ ②直売所を増やすなど消費者と生産者との直接的な交流の推進〔153〕
☐ ③環境教育や食育など学校教育や社会教育との連携〔130〕
☐ ④経営安定化など農業の魅力を高め、担い手を確保していく〔222〕
☐ ⑤高齢化・担い手不足に対応するため、生産効率を追求していく〔134〕
☐ ⑥地元で採れた農産物を地元で消費する「地産地消」の推進〔255〕
☐ ⑦農業や化学肥料を減らす、或いは使わない安全安心な農業への取り組み〔182〕
☐ ⑧農産物や加工品の特産品開発などの地域ブランドの確立〔163〕
☐ ⑨棚田オーナー制度、市民農園、週末田舎体験など都市住民との交流を推進〔69〕
☐ ⑩その他〔12〕

今後必要な取組	① 8.6%	② 10.6%	③ 9.0%	④ 15.4%	⑤ 9.3%	⑥ 17.7%	⑦ 12.6%	⑧ 11.3%	⑨ 4.8%	⑩ 0.8%
---------	--------	---------	--------	---------	--------	---------	---------	---------	--------	--------

○最も割合が高いのは「地産地消の推進」、次いで「経営が安定した魅力ある農業」・「安全安心な農業の取り組み」となっています。

■関心のある環境問題について

[設問] 関心のある環境問題がありましたら、自由にお書きください。	記述式	一般	中学生
		(5)	(5)



A:ホテルの減少及び河川の浄化に関連する回答

E:森林や木の伐採に関連する回答

B:生物のための環境再生に関連する回答

F:地球温暖化に関連する回答

C:生ゴミ堆肥化に関連する回答

G:次世代のためにという回答

D:山に捨てられたゴミに関連する回答

○一般では「生物のための環境再生に関連する回答」が一番多くなっています。

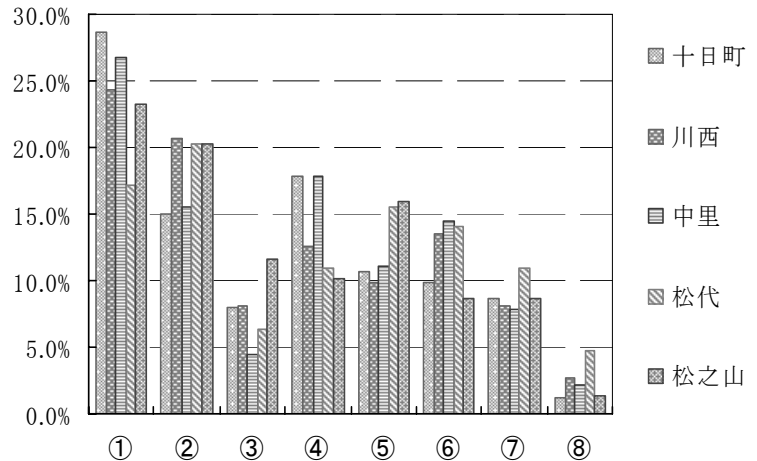
○中学生では「地球温暖化に関連する回答」が最も多くなっています。他の項目と大差があります。

＜地域別の傾向＞

■環境保全の取組

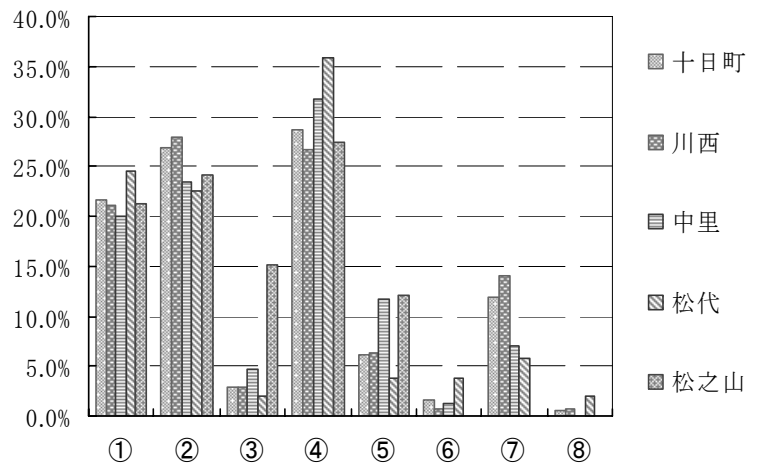
【一般】

- ①野外で遊ぶなど子どもの自然体験の機会を増やす
- ②田植えや収穫などの子どもの農業体験の機会を増やす
- ③魚やホタル・トンボなどの生き物をみんなで調べる機会をつくる
- ④学校教育や社会教育で環境教育の時間を増やす
- ⑤みんなで地域の環境についての話し合いや合意形成の場をつくる
- ⑥年配の方から昔の自然のことや生活の知恵などの話を聞く機会をつくる
- ⑦環境に関する情報の発信や入手が簡単にできるようにする
- ⑧その他



【中学生】

- ①森林・川や池などの自然はそのままにする
- ②里山の手入れや川をきれいにするなど、生き物がすみやすい環境にもどす
- ③自然観察会などで地域の自然を知る機会をふやす
- ④ゴミと資源を分別する・水や電気を大切に使う
- ⑤将来の環境についてみんなで考えていく
- ⑥環境について教えてくれる人をふやす
- ⑦市街地に公園や街路樹などの花や緑をふやす
- ⑧その他



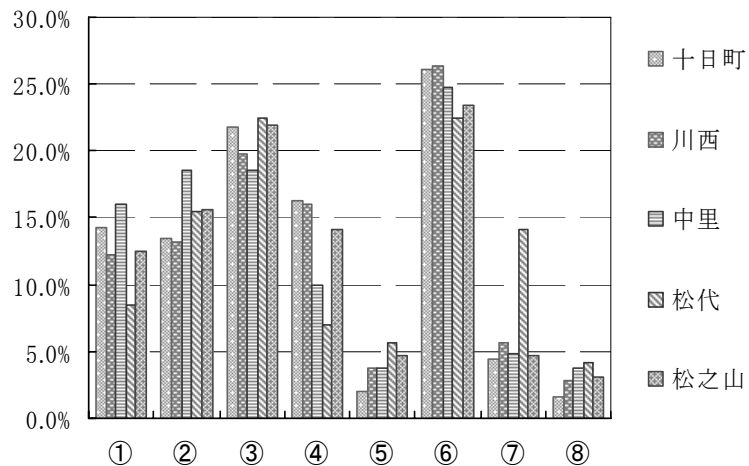
○一般では「自然体験を増やす」、「農業体験を増やす」の割合は共通して高くなっています。

○中学生では「ゴミの分別や節水・節電」、「生き物の環境をとりもどす」、「自然をそのまま保全」の割合は共通して高くなっています。

■環境活動への参加

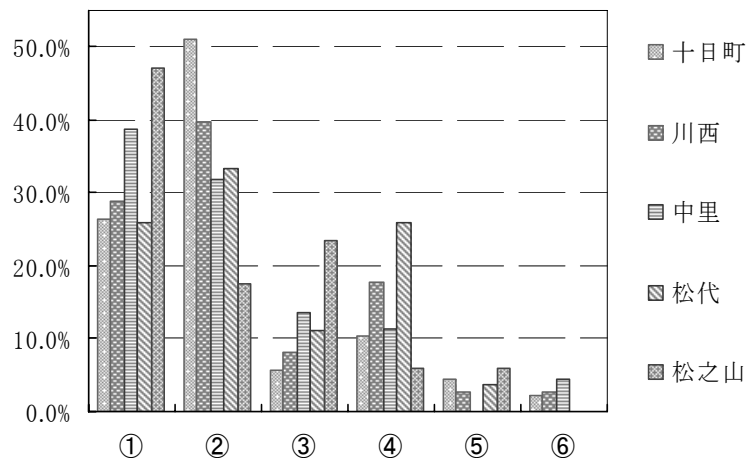
【一般】

- ①自分の特技がいかにせる活動に参加したい
- ②地域の魅力などを多くの人に知ってもらえる活動に参加したい
- ③多くの人と知り合え、情報交換などができる活動に参加したい
- ④家族で参加できる活動に参加したい
- ⑤どんな活動でも参加したい
- ⑥簡単な作業であれば参加したい
- ⑦参加できない、参加したくない
- ⑧その他



【中学生】

- ①やりたい活動であれば参加したい
- ②友達と一緒にあれば参加したい
- ③どんな活動でも参加したい
- ④簡単な作業であれば参加したい
- ⑤参加できない、参加したくない
- ⑥その他



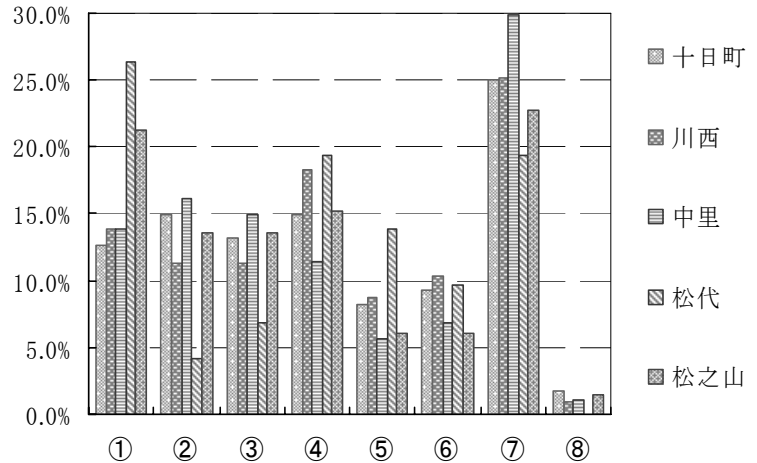
○一般では「簡単な作業であれば参加」、「多くの人と知り合える活動に参加」の割合は共通して高くなっています。

○中学生では「友達と一緒にあれば参加」で、次いで「やりたい活動であれば参加」の割合は共通して高くなっています。

■農業農村の機能

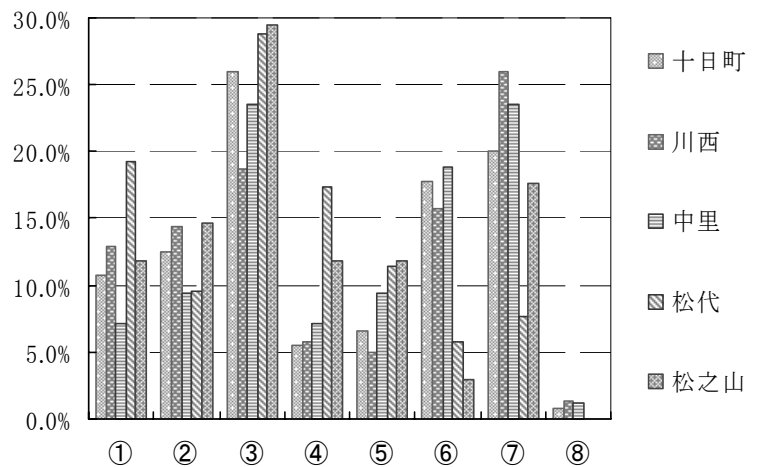
【一般】

- ①水田がダム役割を持ち、洪水や土砂災害を防ぐ機能
- ②水質の浄化や健全な土づくりによる有機物(肥料)の還元を促進する機能
- ③ホタル・ドジョウやカエルなどの生き物を育む機能
- ④美しい自然景観や農村景観をつくりだす機能
- ⑤農業体験などを通じて、社会教育や情操面に貢献する機能
- ⑥農作業や共同の管理作業などに多くの人が参加して楽しさや賑わいをつくる機能
- ⑦食の身近さや食の安心を実感できる機能
- ⑧その他



【中学生】

- ①水田は雨水をためられるので洪水や土砂くずれを防いでいます
- ②水をきれいにすることや堆肥を土に戻すことで土を良くすることに貢献しています
- ③ホタル・ドジョウやカエルなど多くの生き物が水田にいます
- ④棚田やソバ畑の花などが、美しい景観をつくっています
- ⑤魚採りや虫採りなどの体験や農作物の世話をしたりする経験ができます
- ⑥地域の人が集まるお祭りや行事などが多く、にぎわいをつくっています
- ⑦とりたての野菜をおいしく食べることや郷土料理をつくるなど「食」を大切にしています
- ⑧その他



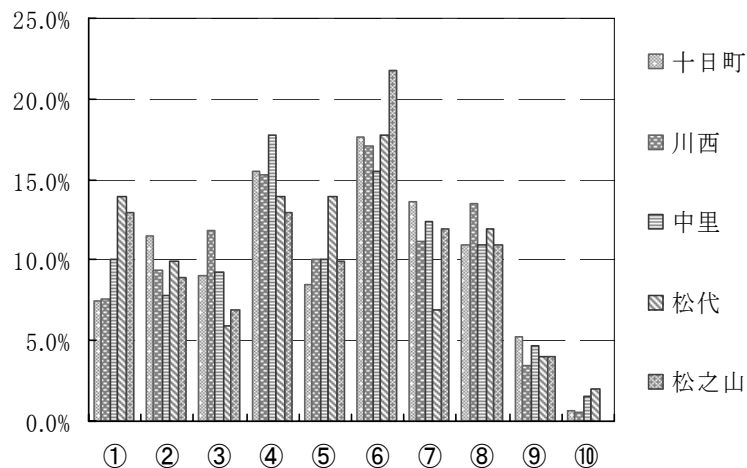
○一般では「食の身近さ・安心の実感」の割合は共通して高くなっています。「洪水や土砂災害を防ぐ」は、松代・松之山で高い割合を示しています。

○中学生では「多くの生き物が水田にいる」の割合は共通して高くなっています。「食を大切にしている」は、松代を除いて高い割合を示しています。

■今後必要な取組

【一般】

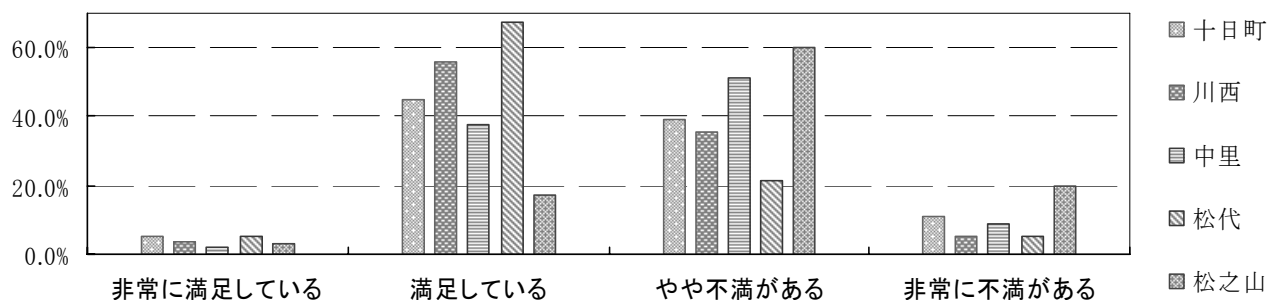
- ①農村ならではの「景観」「伝統文化」「行事」の保全・継承と観光等への利活用
- ②直売所を増やすなど消費者と生産者との直接的な交流の推進
- ③環境教育や食育など学校教育や社会教育との連携
- ④経営安定化など農業の魅力を高め、担い手を確保していく
- ⑤高齢化・担い手不足に対応するため、生産効率を追求していく
- ⑥地元で採れた農産物を地元で消費する「地産地消」の推進
- ⑦農薬や化学肥料を減らす、或いは使わない安全安心な農業への取り組み
- ⑧農産物や加工品の特産品開発などの地域ブランドの確立
- ⑨棚田オーナー制度、市民農園、週末田舎体験など都市住民との交流を推進
- ⑩その他



○「地産地消の推進」、「経営が安定した魅力ある農業」の割合は共通して高くなっています。

■住環境の満足度

【一般】



■満足度の理由

《 共 通 回 答 の 内 容 》

【満足の理由】

- 〔十日町〕 1位 市街地(まち)に近く、自然がある・自然に恵まれている〔5〕
 2位 不便(不満・不都合)だと感じない・思わない〔2〕 2位 道路が広い(整備されて)・歩道も整備された〔2〕
- 〔川 西〕 共通回答なし(単独では、街地に近い・水が豊か などがあります。)
- 〔中 里〕 共通回答なし(単独では、水田や畑に近い(整備されている)・公共的な施設がある などがあります。)
- 〔松 代〕 1位 道路が整備され(広くなり)、冬期の交通が可能(除雪される)〔2〕 1位 冬期の除雪・道路除雪〔2〕
- 〔松之山〕 共通回答なし(単独では、不満がない などがあります。)

【不満足の理由】

- 〔十日町〕 1位 公園がない・少ない・ほしい(子どもが遊ぶ・憩い・運動・近くに・大きな)〔19〕
 2位 道路が狭い・整備(舗装)されていない・街灯がない・歩道が狭い・ない・少ない(冬・雪で大変)〔13〕
 3位 消雪パイプ・流雪溝がない・つまる・整備されていない(雪捨て場がない)〔5〕
- 〔川 西〕 1位 道路が狭い(街灯が少ない・冬が危険・側溝蓋がない)・未改良となっている(道路の整備)〔6〕
 2位 公園が少ない・遊具がある公園がほしい〔2〕
- 〔中 里〕 1位 道路に舗装がない・狭い・水たまりができるのに修繕・改良されていない〔4〕
 2位 近くに(利用したい)公園がない〔2〕 2位 お店が少ない・ない(ので不便)〔2〕
- 〔松 代〕 1位 人口減少・過疎化(まちが寂れる)〔2〕
- 〔松之山〕 1位 道路修繕がされていない・歩道に街灯が無い〔2〕

※ それぞれ上位3位まで

○住環境の満足度では、十日町・川西・松代は「満足している」の割合が高くなり、中里・松之山は「やや不満がある」の割合が高くなります。

○満足の理由としては、「市街地に近く自然にも恵まれていること」、「道路が整備されたこと」、「冬期でも交通が可能なこと」が多くなっています。

○不満足の理由としては、「道路が整備されていないこと」、「公園が少ないこと」が多くなっています。

■関心のある環境問題

《 共 通 回 答 の 内 容 》

【一般】

- 〔十日町〕 **1位** 生き物(カエル・ホタル・魚)の環境(川・田・池)をもとにもどす〔4〕
2位 山・山林のゴミの不法投棄・ポイ捨てへの対策〔3〕
2位 次世代へ環境問題を先送りせず、恵まれた環境を残す〔3〕
- 〔川 西〕 **1位** 生ゴミの堆肥化(を継続する)〔2〕
- 〔中 里〕 共通回答なし(単独では、学校給食での地産地消・親世代にも環境教育が必要 などがあります。)
- 〔松 代〕 共通回答なし(単独では、人口の減少による農業・産業の衰退・浄化槽への助成を拡大 などがあります。)
- 〔松之山〕 共通回答なし(単独では、農業への関心が低い・水源保全 などがあります。)

【中学生】

- 〔十日町〕 **1位** 地球温暖化・地球温暖化の進行・対策〔26〕 **2位** 森林伐採・木の(安易・大量)伐採〔3〕
2位 ホタルの減少・川の汚濁・河川(環境)をきれいにする〔3〕
- 〔川 西〕 **1位** 地球温暖化〔2〕
- 〔中 里〕 **1位** 地球温暖化〔2〕
- 〔松 代〕 **1位** 地球温暖化〔2〕
- 〔松之山〕 **1位** 地球温暖化〔5〕

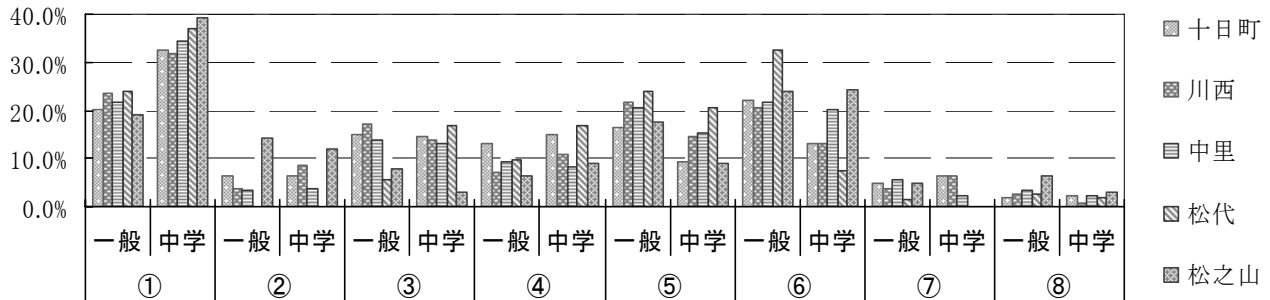
※ それぞれ上位3位まで

○一般では「水辺の生き物の復元」、「ゴミの不法投棄やリサイクル」、「子ども達のために環境を守る」が多くなっています。

○中学生では「地球温暖化」が大差で一番多くなっています。「地球温暖化」はすべての地域で共通している回答となっています。

＜地域内にみる傾向＞

■地域の将来像



- ①まわりに自然が多く残っている地域
 ②多くの人が訪れる観光がさかんな地域
 ③自然や昔ながらのまち並みなど美しい景観のある地域
 ④文化、伝統を守り、大切にしていける地域
 ⑤農業を大切にし、続けていく地域
 ⑥仲間づくりや支え合いを大切にする地域
 ⑦何よりも便利さを求め都市化をすすめる地域
 ⑧その他

○全体的に「まわりに自然が多い地域」の割合の高さが目につきます。

○一般では「仲間づくりや支え合いの地域」の割合が高く、中学生では「まわりに自然が多い地域」の割合が高くなっています。

■地域の自慢

《 共 通 回 答 の 内 容 》

【一般】

- 〔十日町〕 1位 自然(環境)がある・豊か(・空気が良い)〔4〕 1位 地域のまとまり(絆)・お互いが知り合い(仲が良い)〔4〕
 2位 信濃川・信濃川に近い〔3〕 2位 ベルナディオ〔3〕
 〔川 西〕 1位 自然(や)景観が最高・保たれている〔2〕 1位 水(・空気)が美味しい〔2〕
 〔中 里〕 1位 自然・自然がきれい〔2〕 1位 静かなこと・静かでない〔2〕 1位 地域のまとまり・住民の結束〔2〕
 〔松 代〕 共通回答なし(単独では、棚田が美しい・松茸神社や松代城 などがあります。)
 〔松之山〕 1位 自然が豊か〔2〕 1位 温泉がある・温泉に行ける〔2〕

【中学生】

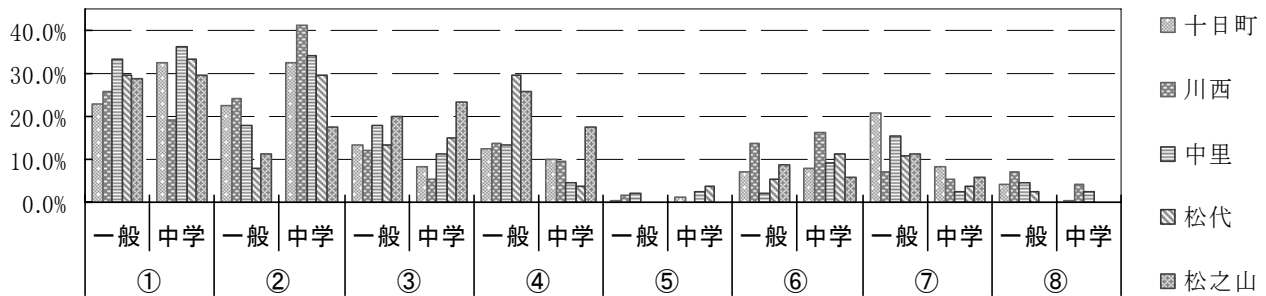
- 〔十日町〕 1位 自然がある・多い・豊か(自然に囲まれている)〔27〕
 2位 美味しいお米がよくとれる〔22〕 3位 水田(・畑)が多い(・美味しい)米(・食べ物)がよくとれる〔20〕
 〔川 西〕 1位 美味しいお米(がよくとれる)〔12〕 2位 自然・自然が多い・きれいな(空も)〔3〕
 2位 水田(が多い)〔3〕
 〔中 里〕 1位 美味しいお米(がよくとれる)(・農薬を使わないから美味しい)〔7〕
 2位 水田が多い(川に沿って)(・お米が美味しい)〔5〕 3位 周りの自然・自然が多い(田舎で)〔3〕
 3位 田んぼ(畑)が多く、山がある(多い)(・空気がいい)〔3〕 3位 東光寺〔3〕
 〔松 代〕 1位 自然・自然が多い(多く残っている)〔6〕 2位 ブナ林(森・緑)がある(ブナ林が多く自然が豊か)〔3〕
 3位 田や畑が多い〔2〕 3位 棚田がある・ブナ林が(緑が多く)ある〔2〕 3位 棚田〔2〕
 〔松之山〕 1位 温泉・温泉が気持ちいい〔4〕 2位 温泉(が多い)・ブナ林(美人林・きれいな林)〔2〕
 2位 ブナ林(美人林・森・林)・田(米)・温泉〔2〕

※ それぞれ上位 3 位まで

○「良好な自然環境」を自慢とするのは、地域や年代を問わず共通しています。

○一般では「地域のまとまりや絆」の回答も多くなっています。中学生では「美味しいお米がよくとれる」・「水田が多い」の回答も多くなっています。

■地域の自然



- ①池や川に魚やカエルなどの水辺の生き物がいる
 ②森林や公園などに花や緑が多い
 ③水田・水路にホタルや小魚などがよく見られる
 ④身近なところで野鳥を見ることができる
 ⑤自然のままの湿原や池沼がたくさんある
 ⑥チョウやトンボ・カブトムシなど昆虫が多い
 ⑦自然が少なく残念に思う
 ⑧その他

○「池や川に生き物がいる」の割合は共通して高くなっています。「花や緑が多い」は高い割合を示していますが、中学生よりも一般の割合が低く、差があります。

■大切にしたい自然・動植物

《 共通回答の内容 》

【一般】

- 〔十日町〕 1位 ホタル(減少している・ホタルの自然を保護)[10] 2位 きれいな川・川の水をきれいにする[3]
 3位 信濃川(魚がいなくなった・サケが上る信濃川)[3]
 〔川 西〕 1位 森林・雑木林[2]
 〔中 里〕 1位 水田(や水路)がホタルが見られる環境になる[2]
 〔松 代〕 共通回答なし(単独では、山菜類や山野草・トンボ などがあります。)
 〔松之山〕 1位 ホタル[2]

【中学生】

- 〔十日町〕 1位 森林・森(林・山・森の木々)を大切にしたい[19]
 2位 木(たくさんの木・木などの植物)(を大切にしたい)[13] 3位 全て・全部の自然・生き物・動植物[12]
 〔川 西〕 1位 ブナの木・ブナ林(を大切にしたい)[6] 2位 ホタル[5] 3位 木(地域にある木々)[4]
 〔中 里〕 1位 森林(森・山の緑・花)を残す・大切にしたい[7] 2位 全て(の動物・いろんなものを大切にしたい)[2]
 3位 木[2] 3位 魚[2] 3位 カモシカ[2]
 〔松 代〕 1位 ブナ・ブナ林(を大切にしたい)[8] 2位 森・森林(を大切にしたい)[2]
 〔松之山〕 1位 ブナ林(美人林のような)[3] 2位 森林・林(を守りたい)[2]
 2位 ホタル(を守っていききたい)[2] 2位 ヨコヤマヒゲナガカミキリ[2]

※ それぞれ上位3位まで

○「ホタルの回答」は一般で多く、中学生にもあります。

○一般では「河川や水田等の水辺環境の回答」も多くなっています。中学生では「森林や樹木についての回答」がほとんどです。

＜アンケート結果に関する一考＞

■全体で共通する結果から

- 地域の良好な自然は、地域や年代を問わず共通して自慢と感じています。
- 「まわりに自然が多い地域」、「仲間づくりや支え合いの地域」を主題とした地域づくりが求められています。
- 池や川などの水辺では生き物が多いと感じているのに対して、水田や水路では少ないと感じています。
- 農業農村が持つ「食の安全や大切さを実感できる機能」への関心が高くなっています。

■一般の結果から

- 住環境の満足度は、道路や公園の整備状況が大きな要因となっています。
- ホテルなどの水辺の生き物やきれいな川を大切にしたいという声が多くなっています。
- 環境を大切にする意識を高めるためには、自然体験や農業体験などを行うことが望まれています。
- 環境保全活動などでは「多くの人と知り合える活動」への関心が高くなっています。
- 今後は「地産地消の推進」、「経営が安定した魅力ある農業」に重点をおく取り組みが求められています。

■中学生の結果から

- 魚沼十日町産ブランド米とこれを生産している水田を自慢と感じています。
- 一般よりも中学生の方が自然が豊かであると感じています。
- 森林や樹木を大切にしたいという声が多くなっています。
- 環境を良くするためには、資源やエネルギーを大切にすることと、自然環境の保全・生き物の環境を復元することが望まれています。
- 一般よりも中学生の方が環境保全活動への意欲が高くなっています。
- 農業農村が持つ「生き物を育む機能」への関心が高くなっています。
- 環境問題では、地球温暖化への関心がかなり高くなっています。